

2017 March

東京都市大学 校友会
TOKYO CITY UNIVERSITY

都市

vol.04



巻頭言

不思議なご縁の集りですが

東京都市大学 校友会 副会長

原口 兼正

(S49 通信)



人の一生は、限り無く多くの分かれ道から、ある時は自らの意思で、ある時は偶然の成り行きで、選んだ道を歩き続けている様な気がします。

若者が最初に自らの意思で受験する学校を選び、実力、運、偶然のな

かから合格し、入学して学友、先生方と出会い、大学生を送り、我々の母校を卒業した者そして在学生在が校友会会員であります。

校友会報「都市」は、最新の住所が登録されている約6万人の卒業生と7千人の在学生在に届いております。「都市」を読んでいただいた皆様も、毎日の仕事や結婚、子育て等あらゆる局面で進むべき道を選択し続けておられるでしょう。

20才から100才の間、約80年の世代において、選択と偶然によって出来上がった集団である校友会会員のうちの約7万人は貴重なネットワークだと思います。校友会活動に直接関与していない皆様も、生年月日と最終学歴の校名、学科、卒業年次は何時でも暗唱している事でしょう。社会に出てから卒業生として母校の

発展は誉らしいものです。校友会は皆様の気持ちを生かして、学生支援の様々な事業を進めており、平成28年度からは金銭のみならず、就職支援イベントを行います。

校友会のイベント参加者は、ややもすると校友会の役員および常連の方々が中心になりがちですが、最近は初参加の方が増加しており、活性化しつつあります。

卒業後もお付き合いのある同窓の方々と、お誘い合わせのうえ、直接、間接に校友会に参加、ご支援下さい。その第一歩として、今回の「都市」より、「校友会活動充実のための維持会費」納入のお願いを同封させていただくことになりました。宜しくお願い致します。

建学の精神「公正 自由 自治」で 100 周年を

東京都市大学 校友会 副会長

松村 慶一

(S49 機械)



東京都市大学の前身武蔵高等工科学学校が開校(1929年)されてから本年度で88年目を迎えます。94千余人の多くの卒業生を社会に輩出し、63千余人の卒業生が今まさに社会で活躍貢献され、そして毎年1700

余名の方が卒業し社会に巣立っています。本学は2019年には90周年、2029年に100周年を迎えます。大学は長期的視点に立った「ビジョン2030」を標榜し、新たな大学像を描き取り組んでいます。そのビジョンのひとつが「東京都市大学のブランド力の向上」です。これまで多くの卒業生の力によって大学の魅力を、大学の知名度を確立してきたといっても過言ではありません。これまでに以上に卒業生の力で、そのビジョンに協力したいと考えています。校友会は、全国43の道府県の地方支部で構成されています。これら全国で活躍されている6万人余の卒業生が、大学のファンであり、応援団ではないでしょうか。地方支部で毎年開催される総会懇親会と同時に、大学の先生をお招きし、講演会を計画して

います。この講演会では、今後卒業生だけでなく、その御家族、在在学生のご父母、地元高校生、そして一般市民の方々の参加を募って、広く大学の学研、学際を知ってもらう取り組みを進めたいと考えています。校友会の輪をひろげ、卒業生同士の相互交流とともに、大学と一体となつての取り組みを続けたいと考えます。

2030年に向けて大学は社会変化を捉えて、たとえばグローバル化などの多くの施策を目指しています。その多くの取り組みの実を結ぶ源(みなもと)は、自らが主体的に、自立して、公正な判断をし、創造することの能力です。まさに、これは90有余年の建学の精神である「公正・自由・自治」です。卒業生が培ってきた精神であり、これから現役学生が獲得すべき精神ではないだろうか。

さあ、ジャンプの年です。

東京都市大学 学長
東京都市大学 校友会 顧問
三木 千壽



学長就任以来、「国際標準の大学への進化」を目標として、教育と研究の両面から様々な改革に取り組んできました。一年目はホップの年として多様なプログラムを提案し、昨年はそれを定着するステップの年であると宣言しました。今年はジャンプの年です。

校友会や教職員の皆様にとっては、今までの都市大にはあまり馴染の無かったことも多く、戸惑いや驚きもあったことと思います。しかし、おかげさまで、少しずつですが、成果が見えるようになって来ました。その一つがTimes Higher Education (THE) の世界大学ランキングで800-980位へランクインしたことです。400位以下は大雑把な評価ですが、世界の1000位以内に入れたことは大変喜ばしいことです。ランクインした日本の大学は69、そのうち私大は22です。創立100周年を迎える2029年には300位以内が目標です。

THE大学ランキングでは教育力(30%)、研究力(30%)、引用数(研究の影響力、30%)、国際性(7.5%)、産業界からの収入(2.5%)の指標で評価されます。今回のランクインは大学改革着手前のデータですので、今進めている改革の成果が出始めると、ランクはさらに上がると考えています。

たかがランキングと思う方も多いと思いますが、されどランキングです。まず、受験生は参考とするでし

よう。世界の大学と交流する場合も、ランクに入っていないと話になりません。評価で用いられている成果指標は、文部科学省などで使われているものと変わりません。今後も成果指標をしっかりと意識しながら、改革を進めていきます。

都市大での早急に対策をとらなければいけないのが、研究力の低下です。大学としては教育と研究が推進の両輪であり、研究が無ければ職業訓練学校になってしまいます。研究力は科研費の獲得額、SCOPUS論文数、インパクトファクターなどで計られます。特に科研費はその分野におけるピアレビューともいえますので重要です。今後、研究施設の充実を目的とした予算配分などでも改善を図っていきます。

改革の大きな柱は国際化です。国際人育成の導入プログラムであるTAPは順調に進んでいます。準備教育で半数近くの学生がTOEICの成績を100点以上アップさせ、オーストラリアのエディスコワン大学(ECU)に出かけました。帰国後のTOEIC受験では多くの学生が200点以上伸ばし、700点に到達した学生もいます。

小職もECUを訪問し、留学中の学生たちと会ってきましたが、まず、顔つきが変わっています。また、積極的に話しかけるようになっていました。都市大生がオーストラリアの学生と打ち解けて話している姿は、More than our expectations とし

表現しようがありません。

大学の役割は人材育成です。いつも頭にあるのは、菅子の言葉「計年莫如樹穀 計十年莫如樹木 計終身莫如樹人」であり、大学の計画は「終身の計」でなければなりません。そこで都市大としてどのような人材の育成を目指すかですが、単に知識を詰め込んだ、クイズに強いような人材ではない、と考えています。解が一つではないような課題、あらゆる困難な状況に対応できるタフな人材を、都市大から輩出したいと考えています。「今日の即戦力は明日の戦力外」です。

校友会の皆様は昨年と同じお願いをさせていただきます。それは、意欲的な学生の獲得にご協力いただきたい、ということです。入試の現状は危機としかいえません。様々な対策を講じつつあります。学内の入試体制を変えるとともに、外部の専門家によるアドバイスを継続的にいただく仕組みも進めています。広報の方法も変えていきます。

人気の低下の第一の原因は都市大の魅力がおちた、魅力を伝えきっていないことであることは理解しています。それについては最大限の努力を続けています。しかし、ぜひ、ここで、都市大の良さを知っている、そして期待感を持って見守っていただける校友会の皆様のご支援をよろしくお願い致します。

平成28年度定期総会報告

平成28年6月18日（土）に世田谷キャンパスにおいて、平成28年度定期総会を開催しました。

当日は13時から、総会を行い、以下を承認しました。

- ・平成27年度事業報告
- ・平成27年度収支決算報告及び監査報告
- ・平成28年度事業計画案
- ・平成28年度収支予算案
- ・会則・細則の変更案
- ・監査役の交代

引き続き、14時15分から、「宇宙、人、夢をつなぐ」というテーマで、宇宙飛行士の山崎直子氏による講演会を行い、宇宙飛行士としての体験に基づく興味深いお話をいただきました。

その後、懇親会を行い、会員相互に一層の親交を深めました。なお、懇親会の中で功労者表彰、叙勲受章者のお祝いも行いました。（出席者 総会：110名 講演会：238名 懇親会：180名）



平成27年度事業報告

1. 会報の発行

- ・校友会会報「都市」第3号を平成28年3月19日に発行し、学位授与式当日に新正会員に配布。4月中旬に正会員全員へ郵送した。

2. 幹事会、常任幹事会・各委員会及び各付置部会の開催

- ・幹事会…平成27年4月25日（土）に開催し、新役員の承認、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画案、平成26年度収支決算報告及び監査報告、平成27年度収支予算案等を承認した。
- ・常任幹事会…平成27年4月から平成28年3月まで10回開催し（4月は暫定常任幹事会）、必要事項の審議・承認を行った。
- ・各委員会（総務、企画、財務、広報、支部、学科支部費用検討）及び各付置部会…平成27年4月から平成28年3月まで、全委員会及び全付置部会合計72回開催した。

3. 総会、懇親会の開催

- ・定期総会及び懇親会を平成27年6月20日（土）渋谷エクセルホテル東急において開催した。
新役員の承認、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画案、平成26年度収支決算報告及び監査報告、平成27年度収支予算案等を承認した。

4. 会員名簿の作成

- ・会員のメールアドレス登録を校友会ホームページ上で行っていることを会報で周知。管理システム検討中。
- ・校友会ホームページに地方支部、職場支部、学科同窓会のページを構築し、各情報を本部で収集、掲載入力を行い運営を

開始した。

5. 会員相互の親睦、交流

・賀詞交歓会

平成28年1月26日（火）世田谷キャンパス ラウンジオーークで、79名の参加により開催した。

〈親睦ゴルフ大会〉

平成27年11月17日（火）レイクウッドゴルフクラブにおいて、五島育英会からの招待者並びに東京都市大学職員を含む35名の参加により開催した。

・親睦会 〈屋形船による遊覧と親睦会〉

平成27年10月17日（土）に屋形船による遊覧と親睦会（お台場、ディズニーランド付近を遊覧）を24名の参加により実施した。

・セミナー（第1回）の開催

平成28年2月20日（土）に「二子玉川夢キャンパス」において、角田光男氏を講師に迎え、「共同通信記者37年メディアからキャンパスへ学縁を広げよう」というテーマで63名の受講者により開催した。

6. キャンパス運営支援

横浜キャンパス及び等々力キャンパス同窓会運営への助成を行った。

7. 各学科同窓会への支援 各学科同窓会への支援

- ・各学科同窓会へ以下の助成を行った。 ※④については費用だけでなく人的サポートを新たな支援に含める。

①一律支援 → 全ての学科同窓会(14学科同窓会)

②大学の名を高める事業 → 2学科

- ③就職支援事業 → 4学科
- ④新しい学科同窓会への総会立ち上げ支援 → 3学科 ※
- ⑤特別支援→新美砂会（武蔵工業会と美砂会の地方支部 統合推進費用）
- 8. 地方支部、職場支部への支援・依頼
 - ・地方支部総会・職場支部総会(合わせて39支部)へ役員を派遣し、本部との交流を図った。
 - ・大学から教員が地方支部総会・職場支部総会(合わせて20支部)へ出席し、大学の現況と交流を図った。
 - ・地方支部への活動内容に合わせた助成を行った。
 - ①支部総会助成(総会実施支部) → 35支部、
 - ②親睦行事助成 → 各種親睦行事開催支部 → 23支部
 - ③支部発足準備支援(発足を予定している支部) → 1支部
 - ④役員会開催助成 一律支援 → 39支部(休眠支部を除く)
 - ・現役学生の就職活動支援、母校受験者への大学紹介について支部総会出席の際、支援依頼を行った。
具体的には今後大学と協議する。
 - ・地方支部総会開催案内通知発送に関する支援
 - ・平成27年4月25日(土)に地区代表者会議、同6月20日(土)に全国支部長会議を開催し、支部への支援方針の説明、支部活動状況報告、校友会運営の協力依頼等を行った。
- 9. 大学事業への協力
 - ・「東京都市大学フェア in 静岡」への協力…平成27年9月5日(土)に開催した同フェアの講演会及び静岡支部総会について、静岡、東海各支部の会員へ周知するとともに本部役員等が貸し切りバスにより参加した。
 - ・大学と後援会主催の「大学と保護者との連絡会」(地方開催)への協力…各地方支部に出席を依頼、Uターン就職等の助言、支部現況等紹介した。(支部からの出席14会場、24名)
- 10. 在学生へ奨学金・奨励金及び助成金
 - ・奨学金・奨励金
大学が企画した①海外インターンシップ ②毎日学べる英会話 ③インターナショナルラウンジ ④TOEIC検定料 ⑤朝活100円朝食 ⑥ボランティア支援 に助成した。緊急奨学金として貸与(1名)。
 - ・海外研修支援会への支援
海外で研修する学生対して費用を貸与している東京都市大学海外研修支援会へ助成した。(平成27年度から4年間各150万円)
- 11. ホームカミングデーを大学と共催で実施した。
 - ・校友会及び大学教職員による実行委員会で協議のうえ、キャンパス毎のホームカミングデーを開催した。
参加状況は以下のとおりであった。
平成27年6月6日(土) 横浜キャンパス
(出席者:卒業生 64名、教職員等42名)
平成27年11月1日(日) 世田谷キャンパス
(出席者:卒業生220名、教職員等86名)
平成27年11月1日(日) 等々力キャンパス
(出席者:卒業生 88名、教職員等38名)
- 12. キャンパス毎の学園祭に参加
 - ・等々力祭、世田谷祭において会員向休憩場所として「ラウンジ」を設置した。
- 13. 学位授与式関係
 - 〈校友会賞授与〉 学業優秀で、将来社会での活躍が期待される者を対象に各学科又は専攻毎に各1名計16名に校友会賞を授与した。
 - 〈学位記ホルダー贈呈〉 平成27年度卒業生全員に学位記ホルダーを贈呈した。
 - 〈ガーデンパーティ実施〉 新規卒業生歓迎行事として大学と

共催で学位授与式後にガーデンパーティを行った。

- 14. 武蔵工業会館のあり方検討
総務委員会で武蔵工業会館の今までの経緯、位置付け等を確認し、今後の会館持続について検討を重ね、会館側に提案した。
- 15. 功労者表彰等
「校友会表彰規程」及び「校友会表彰基準」に基づき、支部運営に尽力した支部長退任者8名を功労者として定期総会において表彰した。また、叙勲受章者4名(支部総会での贈呈含む)にお祝い金を贈呈した。

平成28年度事業計画

- 1. 会報の発行
 - ・東京都市大学 校友会報「都市」(第4号)の発行
- 2. 幹事会、常任幹事会、各委員会及び付置部会の開催
- 3. 総会、懇親会の開催
- 4. 「校友会のあり方検討会」を会長諮問機関として継続する。
- 5. IT活用による「コミュニケーション情報システム」の導入
- 6. 会員相互の親睦、交流
 - ・賀詞交歓会
 - ・親睦行事
 - ・セミナーの開催
- 7. 各学科同窓会への支援
 - ・各学科同窓会への活動内容に合わせた助成金の給付
- 8. 支部の機能強化・連携強化
 - ・大学との連携強化(地域の高校、保護者、地域企業との連携)
 - ・地方支部のネットワーク強化(武蔵工業会・美砂会の統合推進継続、地区毎の企画事業)
 - ・地方支部への活動内容に合わせた助成金の給付
 - ・現役学生の就職活動支援、母校受験者への大学紹介支援
 - ・「大学と保護者との連絡会」に地方支部から出席
- 9. 体育会系クラブ及び文化系クラブ同窓会との連携強化
- 10. 在校生への支援
 - ・英語力向上及び海外インターンシップ助成、100円朝食助成、緊急奨学金貸与、技術士第1次試験合格者への受験料助成等
- 11. 在校生への就職支援
 - ・学内支部と連携した就職支援
 - ・校友会プロジェクトによる企業説明会及び海外インターンシップの実施
- 12. ホームカミングデーの共催
 - ・各キャンパスホームカミングデーに参加・支援
- 13. キャンパス毎の学園祭に参加
 - ・学園祭に出品、出店する同窓会の団体に助成金を給付
 - ・校友会の同窓会員向けの「ラウンジ」を設置
- 14. 各種支援のための寄付・協賛金の仕組み構築
- 15. 学位授与式関係
 - ・校友会賞の授与(全学科又は、専攻各1名)、学位記ホルダー贈呈(全員)、式後のガーデンパーティを大学と共催
- 16. 武蔵工業会館の活用と運営
 - ・校友会との協業による会館の有効活用と運営
 - ・利便性向上による有効活用の増大
 - ・会館リニューアル費用の融資(特別会計より)
- 17. 功労者表彰
 - ・校友会運営に尽力した会員を対象とした功労者表彰

平成28年度定期総会報告

平成27年度 収支決算

一 般 会 計				(単位：円)
科 目	平成27年度		対予算	
	予 算	決 算		
1. 会 費	83,420,000	73,810,000	-9,610,000	
・H25年度卒業生	120,000	120,000	0	
・H26年度卒業生	9,660,000	9,700,000	40,000	
・H27年度入学者	16,740,000	16,740,000	0	
・H27年度2年生	16,600,000	15,060,000	-1,540,000	
・H27年度3年生	60,000	60,000	0	
・H27年度卒業予定者	40,240,000	32,130,000	-8,110,000	
2. 諸 会 会 費	1,810,000	2,201,430	391,430	
・総会（懇親会）費	1,000,000	904,000	-96,000	
・賀 詞 交 歓 会	210,000	126,000	-84,000	
・そ の 他	600,000	1,171,430	571,430	
3. そ の 他 収 入	2,100,000	1,918,416	-181,584	
・賀詞交歓会祝金等	100,000	95,000	-5,000	
・雑 収 入	2,000,000	1,823,416	-176,584	
4. ・ 運 用 収 入	0	34,538	34,538	
収 入 計	87,330,000	77,964,384	-9,365,616	
5. 主 事 業 費	41,500,000	41,824,525	324,525	
・総会（懇親会）費	3,100,000	2,977,332	-122,668	
・会 議 費	3,000,000	3,770,018	770,018	
・会 報 発 行 費	7,300,000	7,180,683	-119,317	
・学科同窓会支援費	4,000,000	3,900,000	-100,000	
・キャンパス支援費	2,000,000	2,000,000	0	
・支 部 間 連 費	3,800,000	5,806,443	2,006,443	
・支 部 支 援 費	4,300,000	3,069,000	-1,231,000	
・支部総会出張費	2,500,000	3,915,490	1,415,490	
・在学生支援費	11,500,000	9,205,559	-2,294,441	
6. 卒業関連事業費	2,290,000	2,221,420	-68,580	
・学位記ホルダー	1,350,000	1,281,420	-68,580	
・校 友 会 賞	240,000	240,000	0	
・ガーデンパーティ費	700,000	700,000	0	
7. そ の 他 事 業 費	8,580,000	4,544,702	-4,035,298	
・留 学 生 支 援 費	30,000	45,000	15,000	
・ホームカミングデー費	3,500,000	3,179,024	-320,976	
・ホームページ拡充・更新費	200,000	79,315	-120,685	
・システム管理費	3,000,000	110,680	-2,889,320	
・賀 詞 交 歓 会 費	1,000,000	585,521	-414,479	
・表彰者記念品	150,000	80,000	-70,000	
・親睦会行事費	700,000	465,162	-234,838	
8. 管 理 費	15,018,936	14,092,858	-926,078	
・人 件 費	11,430,000	11,296,698	-133,302	
・通 信 交 通 費	600,000	400,564	-199,436	
・渉 外 費	500,000	370,286	-129,714	
・備 品 費	200,000	0	-200,000	
・事 務 用 品 費	1,500,000	1,411,013	-88,987	
・印 刷 費	500,000	325,361	-174,639	
・賃 借 料	288,936	288,936	0	
9. 周 年 積 立 金	5,000,000	5,000,000	0	
10. 雑 費	2,150,000	1,406,695	-743,305	
11. 会 費 等 返 却 金	0	40,000	40,000	
12. 予 備 費	3,000,000	0	-3,000,000	
支 出 計	77,538,936	69,130,200	-8,408,736	
13. 収 支 差 額	9,791,064	8,834,184	-956,880	

特 別 会 計				(単位：円)
科 目	平成27年度		対予算	
	予 算	決 算		
14. 保 有 資 産				
・基 金（国債）	150,773,691	150,633,752	-139,939	
・現 金	165,089,891	165,089,891	0	
・会館株式（株券）	15,070,000	15,070,000	0	
資 産 合 計	330,933,582	330,793,643	-139,939	
15. 特別会計現金収入				
・償還・売却時現金	0	139,939	139,939	
・債券運用益	0	258,980	258,980	
・周年積立金	5,000,000	5,000,000	0	
・一般会計から振替	9,791,064	8,834,184	-956,880	
収 入 合 計 ①	14,791,064	14,233,103	-557,961	
16. 特別会計現金支出				
・債券（処分額）	0	0	0	
現金支出合計②	0	0	0	
17. 現金収支合計①-②	14,791,064	14,233,103	-557,961	
18. 繰越資産合計	345,724,646	345,026,746	-697,900	
19. (内数) 現金合計	179,880,955	179,322,994	-557,961	

東京都市大学 校友会資産の推移				(単位：円)
科 目	平成27年度		対予算	
	予 算	決 算		
20. 基 金（国債）	150,773,691	150,633,752	-139,939	
21. 現 金	179,880,955	179,322,994	-557,961	
22. 会館株式（株券）	15,070,000	15,070,000	0	
合 計	345,724,646	345,026,746	-697,900	

H26年度～累計 (単位：円)			
23. 周年積立金 H26年度～	5,000,000	5,000,000	10,000,000

緊急学費貸与（その他）に計上 (単位：円)			
科 目	貸与金額		残 額
	予 算	決 算	
24. H26年度在学生支援費より	670,000	130,000	540,000
H27年度在学生支援費より	550,000	0	550,000

平成28年度 収支予算

一 般 会 計				(単位：円)
科 目	平成27年度 決算	平成28年度 予算(案)	予算前年対比	
1. 会 費	73,810,000	85,410,000	1,990,000	
・H25年度卒業生	120,000			
・H26年度卒業生	9,700,000			
・H27年度入学者	16,740,000			
・H27年度2年生	15,060,000	830,000		
・H27年度3年生	60,000			
・H27年度卒業予定者	32,130,000	700,000		
・H28年度入学者		15,280,000		
・H28年度2年生		16,660,000		
・H28年度3年生		17,140,000		
・H28年度卒業予定者		34,800,000		
2. 諸 会 会 費	2,201,430	1,950,000	140,000	
・総会（懇親会）費	904,000	800,000	-200,000	
・賀 詞 交 歓 会	126,000	150,000	60,000	
・そ の 他	1,171,430	1,000,000	400,000	
3. そ の 他 収 入	1,918,416	2,100,000	0	
・賀詞交歓会祝金等	95,000	100,000	0	
・雑 収 入	1,823,416	2,000,000	0	
4. ・ 運 用 収 入	34,538	0	0	
収 入 計	77,964,384	89,460,000	2,130,000	
5. 主 事 業 費	41,824,525	46,970,000	5,470,000	
・総会（懇親会）費	2,977,332	1,650,000	-1,450,000	
・会 議 費	3,770,018	4,000,000	1,000,000	
・会 報 発 行 費	7,180,683	7,300,000	0	
・学科同窓会支援費	3,900,000	4,000,000	0	
・キャンパス支援費	2,000,000	2,000,000	0	
・支 部 間 連 費	5,806,443	5,000,000	1,200,000	
・支 部 支 援 費	3,069,000	4,300,000	0	
・支部総会出張費	3,915,490	4,000,000	1,500,000	
・在学生支援費	9,205,559	14,720,000	3,220,000	
6. 卒業関連事業費	2,221,420	2,570,000	280,000	
・学位記ホルダー	1,281,420	1,400,000	50,000	
・校 友 会 賞	240,000	270,000	30,000	
・ガーデンパーティ費	700,000	900,000	200,000	
7. そ の 他 事 業 費	4,544,702	11,525,000	2,945,000	
・留 学 生 支 援 費	45,000	45,000	15,000	
・ホームカミングデー費	3,179,024	3,500,000	0	
・ホームページ拡充・更新費	79,315	200,000	0	
・システム管理費	110,680	6,000,000	3,000,000	
・賀 詞 交 歓 会 費	585,521	1,000,000	0	
・表彰者記念品	80,000	80,000	-70,000	
・親睦会行事費	465,162	700,000	0	
8. 管 理 費	14,092,858	15,018,936	0	
・人 件 費	11,296,698	11,430,000	0	
・通 信 交 通 費	400,564	600,000	0	
・渉 外 費	370,286	500,000	0	
・備 品 費	0	200,000	0	
・事 務 用 品 費	1,411,013	1,500,000	0	
・印 刷 費	325,361	500,000	0	
・賃 借 料	288,936	288,936	0	
9. 周 年 積 立 金	5,000,000	5,000,000	0	
10. 雑 費	1,406,695	4,200,000	2,050,000	
11. 会 費 等 返 却 金	40,000	0	0	
12. 予 備 費	0	3,000,000	0	
支 出 計	69,130,200	88,283,936	10,745,000	
13. 収 支 差 額	8,834,184	1,176,064	-8,615,000	

特 別 会 計				(単位：円)
科 目	平成27年度 決算	平成28年度 予算(案)	予算前年対比	
14. 保 有 資 産				
・基 金（国債）	150,633,752	150,633,752	-139,939	
・現 金	165,089,891	179,322,994	14,233,103	
・会館株式（株券）	15,070,000	15,070,000	0	
資 産 合 計	330,793,643	345,026,746	14,093,164	
15. 特別会計現金収入				
・償還・売却時現金	139,939			
・債券運用益	258,980	0	0	
・周年積立金	5,000,000	5,000,000	0	
・貸付収入金	0	0	0	
・一般会計から振替	8,834,184	1,176,064	-8,615,000	
収 入 合 計 ①	14,233,103	6,176,064	-8,615,000	
16. 特別会計現金支出				
・債券（処分額）	0	0	0	
・会館特定目的資産	0	12,600,000	12,600,000	
・支 出 合 計 ②	0	12,600,000	12,600,000	
現金収支合計①-②	14,233,103	-6,423,936	-21,215,000	
17. 繰越資産合計	345,026,746	338,602,810	-7,121,836	
18. (内数) 現金合計	179,322,994	172,899,058	-6,981,897	

東京都市大学 校友会資産の推移				(単位：円)
科 目	平成27年度 決算	平成28年度 予算(案)	予算前年対比	
基 金（国債）	150,633,752	150,633,752	-139,939	
現 金	179,322,994	172,899,058	-6,981,897	
会館株式（株券）	15,070,000	15,070,000	0	
合 計	345,026,746	338,602,810	-7,121,836	

周年積立金 注1.特別会計現金収入を含む (単位：円)			
	平成26年度	平成27年度(案)	対前年増減
周年積立金 H26年度～	5,000,000	10,000,000	5,000,000

緊急学費貸与 注2.在学生奨学金を含む 但し、返済は諸会費その他へ (単位：円)			
	平成27年度 返済(案)	平成28年度 返済(案)	28年度繰越残金
奨学金（貸与）1名	130,000	144,000	540,000

緊急学費貸与 注3.在学生支援費を含む (単位：円)			
	平成27年度 貸与	平成28年度 貸与	28年度繰越残金
奨学金（貸与）1名	550,000	110,000	440,000

功労者表彰：感謝状贈呈

本 部	松下 正勝氏 (S40 土木)
	小林 菊恵氏 (S33 家政)
	後藤田栄司氏 (S44 電気)
	中埜 豊氏 (S44 土木)
	井手 勤氏 (S59 建築)
長野支部	上 條 貢氏 (S40 土木)
広島支部	縫部 勝彌氏 (S43 土木)
東熱柏会	望月 宏氏 (S41 生産機械)

叙勲受章者慶祝

旭日双光章	林 孝雄氏 (S41 土木)
瑞宝双光章	福島祐紀洋氏 (S43 建築)

※総会後、お祝いをお渡しいたしました。



功労者表彰の皆様 吉田会長を囲んで

第4回校友会懇親ゴルフ大会（中止）

平成28年9月20日（火）に小田急藤沢ゴルフクラブで第4回校友会懇親ゴルフ大会の開催を予定していましたが、あいにく台風16号の接近による天候の悪化により、中止となりました。

（平成28年度）第1回「校友会のあり方検討会」

平成28年9月24日（土）に平成28年度第1回「校友会のあり方検討会」を実施しました。この検討会は、校友会の存在意義を認識し、今後の活性化に向けて建設的意見を聴取する場として、常任幹事会構成員、各学科同窓会会長を主なメンバーとして平成27年度より実施しています。（平成28年度から、会長直属の会議体として実施）今回は、テーマとして、「①校友会における学科同窓会の活動 ②各種活動における支援のあり方 ③校友会運営財源の確保について」を取り上げ、全体討議、グループ討議（5グループ）を行い、活発な討議を行いました。

校友会バスツアー「世界遺産・富岡製糸場」

平成28年10月15日（土）に世界遺産・富岡バスツアーを36名の参加により実施しました。

富岡では2年に1度のお祭り見物のおまけがあり、製糸場ではガイド付き説明により理解を深めることができました。今回は、会員はもとより、家族の参加が3組（地方支部から参加1組含む）あり、親睦会の広がりを感じた催しとなりました。また、出発時車内で参加者全員の紹介を行い、終始和気藹々としたツアーとなりました。



ホームカミングデー

平成28年度のホームカミングデーは、横浜キャンパス6月11日（土）、世田谷キャンパス及び等々力キャンパス10月30日（日）にそれぞれ大学と共催で実施しました。参加者は以下のとおりです。

横浜キャンパス	卒業生	48名	お迎え側	39名
世田谷キャンパス	卒業生	285名	お迎え側	84名
等々力キャンパス	卒業生	70名	お迎え側	41名



第2回 校友会夢キャンパスセミナー

平成28年11月27日（土）に東京都市大学 二子玉川夢キャンパスで「第2回校友会夢キャンパスセミナー」を開催しました。今回は、「震災後のサポートとまちづくり—福島県いわき市久之浜・大久地区での実践とこれから」をテーマとして、東日本大震災の被災地で支援活動をされている栗田祥弘氏（H12建築）並びに鈴木伴栄氏（いわき市「ふるさとだより」記者）を講師に迎え、お話を伺いました。



復興支援者から被災者に対する強い思いが感じられたセミナーで、受講者の関心も高く、熱のこもった質疑応答で今回のセミナーを締めくくりました。

校友会進路相談会

平成29年1月18日（水）に「校友会進路相談会」を母校世田谷キャンパスで開催しました。これは、在学生がより適切な進路を選択できることを支援する目的で、今回初めて開催され、企業において活躍している卒業生の方々に協力をお願いして実施したものです。参加企業35社（67名）、出席学生113名で、全体説明会で参加全企業の紹介後、各教室に分かれ、企業毎に相談会を行いました。終了後学生食堂で懇親会を行い、卒業生と在学生の交流を深めました。学生、企業側とも意義のある催しとなった旨の感想が多数寄せられ、平成29年度も実施に向け、より良い形となるよう検討致しています。

支部総会開催一覧

支部名	平成 28 年度（平成 28 年 3 月～平成 29 年 1 月開催分）			平成 29 年度
	開催日時	場 所	支部会員出席者数	開催予定
大成柏会	3 月 29 日（火） 18：00～	Y's	51	3 月下旬
鹿島柏会	4 月 8 日（金） 18：30～	鹿島 本社ビル 3 階 社員食堂	39	4 月上旬
山口	5 月 14 日（土） 18：30～	山口グランドホテル	16	6 月 10 日（土）
京三柏会	5 月 17 日（火） 18：30～	萬珍樓 點心舗	38	5 月
島根	5 月 21 日（土） 15：00～	松江テルサ	8	5 月 20 日（土）
東熱柏会	5 月 24 日（火） 18：30～	中華料理 國泰飯店	11	決まり次第、校友会HPに掲載
京滋	5 月 28 日（土） 12：00～	琵琶湖ホテル 和宴会場 / 5 F 長等の間	21	5 月 27 日（土）
愛媛	5 月 28 日（土） 18：00～	いよてつ会館	19	5 月 27 日（土）
秋田	6 月 4 日（土） 15：00～	秋田キャッスルホテル	16	6 月下旬
福島	6 月 4 日（土） 15：00～6 月 5 日（日）	土湯温泉『向瀧』（福島市土湯温泉町）	28	6 月 3 日（土）～4 日（日）
長野	6 月 4 日（土） 14：30～	翠香園	22	6 月 3 日（土）
広島	6 月 11 日（土） 16：00～	ホテルセンチュリー 21 広島 4F	15	6 月 10 日（土）
鳥取	7 月 2 日（土） 15：30～	三朝ロイヤルホテル	9	7 月 1 日（土）
千葉	7 月 2 日（土） 14：30～	千葉センシティブィル 東天紅	42	7 月 1 日（土）
東海	7 月 9 日（土） 15：00～	トヨタ産業技術記念館	23	7 月 8 日（土）
栃木	7 月 9 日（土） 15：00～	ホテルマイステイズ宇都宮	24	7 月 1 日（土）または 8 日（土）
山形	7 月 9 日（土） 18：00～	ホテルメトロポリタン山形	22	7 月 29 日（土）
富山	7 月 23 日（土） 17：00～	富山県民会館	24	6 月
長崎	7 月 30 日（土） 18：30～	長崎 IK ホテル	3	10 月 28 日（土）
徳島	7 月 31 日（土） 18：30～	阿波観光ホテル	11	6 月
北海道	9 月 2 日（金） 18：30～	ホテルモントレエーデルホフ札幌	34	8 月 25 日（金）
静岡	9 月 3 日（土） 15：45～	総会・講演会：アクトシティ浜松研修交流センター 懇親会：ホテルクラウンパレス浜松	50	決まり次第、校友会HPに掲載
鹿児島	9 月 10 日（土） 18：30～	ホテルレクストン鹿児島	10	9 月 9 日（土）
神奈川県内 3 支部 （横浜・川崎・湘南）	10 月 1 日（土） 15：00～	東京都市大学 横浜キャンパス	横浜 / 27 川崎 / 17・湘南 / 10	9 月 30 日（土）
沖縄（再立ち上げ）	10 月 1 日（土） 18：30～	ホテルロイヤルオリオン 2 階 旭の間	27	10 月
岡山	10 月 8 日（土） 16：30～	メルパルク岡山 2 階 蓬莱	6	10 月 7 日（土）
大阪奈良	10 月 15 日（土） 17：00～	ホテルアジュール・奈良	23	10 月
福岡	10 月 21 日（金） 18：30～	平和楼	24	10 月
佐賀	10 月 22 日（土） 18：30～	「割烹 ひろ」	7	11 月 4 日（土）
宮城	10 月 28 日（金） 18：00～	パレス平安	29	10 月末
新潟	10 月 29 日（土） 15：30～	新潟調理師専門学校	26	10 月
和歌山	11 月 3 日（木・祝） 13：30～	トルファン	8	秋頃
横浜市役所	11 月 4 日（金） 18：30～	同發別館	69	決まり次第、校友会HPに掲載
大分	11 月 5 日（土） 17：30～	大分センチュリーホテル	11	10 月 28 日（土）
宮崎（設立総会）	11 月 6 日（日） 14：00～	ホテルメリーージュ	21	決まり次第、校友会HPに掲載
兵庫	11 月 23 日（水・祝日） 12：00～	神戸三宮 東急 REI ホテル	23	11 月 12 日（日）
飛島柏会	11 月 25 日（金） 18：00～	飛島建設本社	16	11 月
熊本	12 月 17 日（土） 17：00～	KKR ホテル熊本	27	9 月 16 日（土）
石川（設立総会）	1 月 29 日（日） 17：00～	ホテル日航金沢「桃李」	52	平成 30 年 1 月 28 日（日）
川崎市役所	1 月 27 日（金） 19：00～	ホテル精養軒	51	1月26日(金)～27日(土)または2月2日(金)～3日(土)
茨城	支部総会は隔年開催のため、平成 28 年度は開催なし			11 月 18 日（土）
青森	〃			決まり次第、校友会HPに掲載
埼玉	平成 28 年度は開催なし			9 月 9 日（土）

支部だよりの全文と写真は、校友会ホームページに掲載されています。各支部のページをご覧ください。



◆宮城支部

事務局（会計）渡辺 憲市（H1 土木）

現在、宮城支部は以下の役員のもと活動を行っております。

- ・支 部 長：村上啓二（S48土木）
- ・幹 事 長：佐藤 修（S50機械）
- ・事務局長：峯岸雄一（S51土木）
- ・会 計：渡辺憲市（H1土木）

主な慣例行事は「新年会」「暑気払い」「忘年会」です。概ね平均的に 30 名弱の参加があります。女性の参加者も増え、華やかになりました。宮城支部としては会員相互の懇親を深めることをモットーとしています。慣例行事を開催することに多方面へ声掛けし、初めて参加する新規参加者も増えてまいりました。



仙台で土木学会が開催されました。都市工学科の丸山先生（S58 土木）他、招いて懇親を深めました。



校歌斉唱

◆秋田支部

事務局 小松 俊光 (S60 建築)

秋田支部総会を7月4日(土)に「秋田キャッスルホテル」にて開催、会員15名(旧武蔵工業会11名、旧美砂会4名)の参加がありました。翌5日(日)には親睦ゴルフコンペを秋田カントリー倶楽部にて行い、9月10日(土)には、統合記念親睦ビアパーティーを「秋田キャッスルホテル」にて行いました。参加者は11名(旧武蔵工業会6名旧美砂会5名)でした。毎年恒例の家族参加型の新年親睦会を平成28年1月30日(土)に和食「すがわら」にて23名の参加で行いました。子どもと一緒に家族で参加は3組、ご夫婦で参加は2組、会員の参加は9名となりました。



ビアパーティー



新年親睦会

◆山形支部

支部長 庄司 岸夫 (S43 通信)

山形支部総会を7月9日(土)山形市内のホテルにて開催し、支部会員22名、うち男性19名、女性6名出席、役員改選では、五百川支部長(S42 経営)退任により、私 庄司が支部長に、また、副支部長を3名体制とし、新たなスタートを切りました。11月12日(土)・13日(日)には秋の例会を酒田で開催。12名の参加。内陸から7名、庄内から5名の参加。一日目は懇親会、老舗の料亭で庄内の魚料理と地酒を満喫。二日目はゴルフ、釣り、観光の三つの企画をしましたが、参加予定していた方が参加できず、懇親会のための例会に終わりました。



秋の例会



ぐい呑み「武蔵」

◆福島県支部

榎田 啓太 (H17 土木)

平成28年度の支部総会は、平成28年6月4日(土)に福島市土湯温泉「向瀧」にて行い、支部会員30名が出席しました。今年度は、当支部で懸案事項であった「武蔵工業会」、「美砂会」の統合に伴い、新美砂会から4名に出席いただき、福島県支部の新たなスタートとなりました。翌日は、支部長杯ゴルフコンペが「安達太良カントリークラブ」にて開催され、7名が参加しました。平成29年度の総会は、平成29年6月3日(土)に開催します。



地方支部だより



6月14日
福島民友新聞に掲載



6月22日
福島民報新聞に掲載

◆栃木支部

副幹事長兼会計 上野 拓也 (H7経営)

今年で40回目の節目を迎える記念すべき栃木支部総会・懇親会がホテルマイステイズ宇都宮にて平成28年7月9日(土)に盛大にとりおこなわれ、24名の会員に参加いただきました。新たに副幹事長に本多美智男様(H02土木)、幹事として大藪耕平様(S47機械)、薄井久恵様(S60英文)を迎えました。恒例事業となっている講演会は、大藪耕平様(元株ホンダ技術研究所)より、『F1テクノロジーについて』と題して、大変興味深いお話に一同聞き入りました。また、栃木支部親睦ゴルフ会を5月13日に、宮の森カントリークラブにて開催しました。



親睦ゴルフ会 参加メンバー

◆千葉支部

幹事長 村田 慎吾 (S51土木)

平成28年度 千葉支部総会を7月2日(土)に千葉センシティービル23階の東天紅にて開催いたしました。今回59回目です。なお、平成28年度より支部長は宮崎さん(S44土木)より海保さん(S49土木)へバトンタッチされました。参加者は協和エクシオ柏会支部より3名、新美砂会会員9名を

はじめ総勢46名と大変賑やかな懇親会となりました。今後、千葉支部は海保支部長を中心に活動しますが、来年度の総会・懇親会の参加者の増強が課題となり真価を問われます。会員皆様のご協力お願い申し上げます。



◆横浜支部

支部長 平川 完 (S44電気)

平成26年4月に横浜支部長を仰せつかり、神奈川県内3支部の統合を進めて来ましたが、諸事情により発足には至りませんでした。現在、各種行事は3支部合同という形で進めています。平成28年度は8月3日にキリンビールの工場見学会を開催し、横浜支部総会および神奈川県内3支部合同懇親会を横浜キャンパスにて10月1日に開催し、横浜支部会員27名が出席、合同懇親会では、横浜・川崎・湘南支部の会員と校友会などの招待者約60名の出席となりました。平成29年度は見学会の他講演会なども企画しています。なお、平成29年度の総会は9月30日開催予定です。



◆川崎支部

支部長 赤津 武雄 (S40 電気)

川崎支部では活動を大きく3つ掲げました。第1に「社会と安全」を統一テーマとした講演会の開催、第2は「川崎の歴史と名所」を基本テーマとした散策、第3は「川崎の自然と文化」を基本テーマとしたホームページへの投稿です。

講演会は支部メンバーだけでなく、学生や地域の住民を含めて演題に関心のある人々に開かれた活動で、「犯罪と被害者」、「海外と安全」、「得する税金のはなし」を行いました。散策は直接会って親睦を深めることが目的で、開催の準備を進めています。投稿は各行事に参加できなくとも、支部のお手伝いをお願いしたいという思いで企画したものです。記事をご覧になり賛同される方々と投稿者との輪が広がることを期待しています。

最後に支部総会で次のことが決まりました。総会を最高意思決定機関とする当支部では役員人事など重要な項目の決定を10月まで待つことはできないので、これらは年度に合わせて3月から4月にかけてホームページ上で採決をいただき決定、10月には実際に顔を合わせての意見交換の場とします。なお現役員の任期は平成30年3月31日となっています。



講演会の様子

◆湘南支部

幹事長 山根 公高 (S46 機械)

湘南支部は、平成23年8月27日(土)に設立総会を開催して発足しました。大屋廣茂支部長(S46機械)の強いリーダーシップのもと、「校友会とは基本的に大学の大きな財産である卒業生の集団であり、そのネットワーク化がとりもなおさず大切であり、それが将来の日本のための卒業生の社会貢献度を上げ、ひいては大学の存在価値を高め、これから社会に羽ばたく



「総会続きの会」(平成28年10月27日藤沢かつば寿司大新)

現役の学生諸君の力強い踏み台になると確信しております。」との思いで、この5年間活動をしてきました。平成28年度の支部総会は10名が出席しました。なお、湘南支部の活動案につきましては、校友会ホームページに掲載しております。

平成29年度神奈川県内3支部合同企画

合同企画として、下記の行事を開催いたします。詳細は校友会各支部(横浜・川崎・湘南)のホームページをご覧ください。5月19日(金)国会議事堂見学、7月または8月 客船飛鳥II見学会、10月または11月 築地市場見学会、1月または2月 澤乃井見学会

平成29年度神奈川県3支部合同総会

1. 開催日時: 平成29年9月30日(土)
2. 開催場所: 東京都市大学横浜キャンパス
3. 参加費用: 懇親会費 男性 4,000円
女性 3,000円
新卒業生 1,000円
4. 当日の予定: 総会 14:00~
講演会 14:45~15:30
最近の学校説明 15:30~16:00
懇親会 16:30~18:30

当日の予定は6月頃に決定します。決定次第、校友会ホームページにてお知らせいたします。また、昨年度総会出席者には、個別に案内状を発送する予定です。

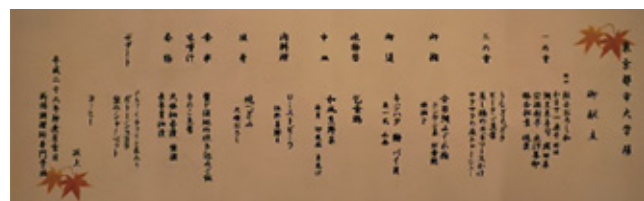
◆新潟県支部

幹事 佐藤 国仁 (S57 土木)

新潟県支部総会を平成28年10月29日(土)に「新潟調理師専門学校」にて開催しました。総勢29名の参加者がありました。また、当学校は、新潟県支部副支部長の吉田育子先生(S37家政)の学校です。



総会の様子です。学校ならではの会場設営です。



本日の献立です。どのような料理が楽しみです。

会員、来賓の皆さん、料理や美味しいお酒で大変喜んでいただけました。



◆長野支部

支部長 高橋 重徳 (S45 建築)

平成 28 年 6 月 4 日 (土) 午後 2 時 30 分から、松本食文化会館内 翠香園にて平成 28 年度総会が開催されました。東京都市大学塩尻高等学校から赤羽校長様、小澤事務長様のご臨席をいただき、会員 22 名の参加により開催いたしました。



塩尻高校文化祭
見学 生徒会役
員の皆さんと

◆富山支部

副幹事長 宮本 千佳司 (H07 機械)

平成 28 年度総会は、7 月 23 日に富山県民会館で開催し、昨年の 16 名を大きく上回る 28 名の方にご出席いただきました。懇親会では新しいメンバーも迎え、恒例となっている近況報告を兼ねた 3 分間スピーチを行いました。お一人お一人の話題も豊富で、質疑応答なども加わり、おおきな盛り上がりを見せ、予定時間を大きく延長し、盛会に終わりました。来年度は更に多くの参加者を集めたいと思います。



◆石川支部

支部長 高屋 利行 (S52 建築)

平成 29 年 1 月 29 日 (日) 17 時からホテル日航金沢「桃李」にて支部設立総会が開催され支部会員 52 名、本部 4 名、富山支部 2 名の総計 58 名の参加がありました。

1 月 31 日「日刊 建設工業新聞」にも掲載されました。



◆東海支部

支部長 秦 俊道 (S45 機械)

東海支部は、愛知県・岐阜県・三重県の 3 県にまたがります。平成 28 年度の活動概要については、ホームページに掲載しておりますが、主な活動として 2 月 24 日 (木) の会社見学会は、私、秦が勤務していた日東電工 (株) の主力工場である豊橋事業所を訪問、7 月 9 日 (土) の総会では、大学から環境学部・環境創生学科の宿谷昌則教授による講演「自然のポテンシャルを活かした住まいの環境づくり」も行いました。



会社見学会の参加者による懇親会



支部総会



宿谷教授による講演会

◆静岡支部

支部長 千野 慎一郎 (S41 建築)

静岡支部総会は、9月3日(土) 15:45~16:15 アクトシティ 浜松研修交流センター 33名。講演会 16:30~17:30 同所 56名。懇親会は 18:00~20:00、会場をホテルクラウンパレス浜松(芙蓉の間)に移し、50名の皆さまにご参加いただきました。また、環境創生学科主任教授 田中章先生の講演会「自然環境保全分野の新しい潮流」には一般参加者6名に14名の県立浜松城北工業高校の生徒さんにもご聴講いただきました。



東京都市大学卒業生による校歌斉唱♪



講演会を聴講された浜松城北工業高校の皆さんと田中章先生

◆京滋支部

支部長 廣原 美照 (S51 経営)

平成28年は1月31日の新年会で幕を開け、13名の支部会員参加。4月30日には、バーベキューパーティーを開催、兵庫支部からも4名のご参加、支部会員15名、ご家族2名、総勢21名の参加。5月28日の支部総会では、支部会員21名、昭和30年卒から平成16年卒までの幅広い年代層の24名が参加。ウォーキング会では8月27~28日一泊二日で「ジンジロゲ」へ、10月22日には「とちのき巨木群」の観察を8名で催行。ゴルフ会は春の湖都会4月9日、秋の古都会11月12日を開催。なお、**平成29年度支部総会は、5月27日に開催いたします。**活動については、校友会ホームページよりご覧いただけます。



琵琶湖湖畔でのバーベキューパーティー



ウォーキング会「とちのき巨木群」の観察

◆大阪奈良支部

支部長 鈴木 敬 (S47 機械)

平成28年度支部総会は、10月15日(土) 奈良にて開催、支部総会に先立ち古都奈良の世界遺産散策を企画いたしました。東大寺での写真です。



支部総会では、23名の会員の皆さんが出席いたしました。



地方支部だより

◆和歌山支部

事務局 西端 重昭 (S52機械)

平成 28 年 11 月 3 日 (祝・木) 支部総会を開催しました。今回は夜の店 (倶楽部トルファン) を昼間に貸し切って、懇親会はカラオケ大会でもしようと思論んだのですが、歓談が尽きずマイクを握ったのは大学校合唱団だけでした。

総会以外の活動として、ゴルフで支部内および他支部会員との交流も行っています。

今後は、東横学園卒業生の多い新宮地区での懇親会を計画しています。



◆兵庫支部

支部長 平井 景三 (S46通信)

平成 28 年度兵庫支部総会を 11 月 23 日 (水・祝) 神戸三宮東急 REI ホテルにて開催、新美砂会からの 6 名を含め総勢 31 名の出席、特別講演として「スポーツと人材育成」と題して、尚美学園大学サッカー部監督の鍵本勝美氏よりお話をいただきました。9 月 22 日 (木・祝) に兵庫支部恒例の日帰りバスツアーを実施。26 名の参加者とともに淡路島方面へ。「大塚国際美術館」を訪ね、行列の絶えない海鮮料理の名店「びんび家」で舌鼓を打ちました。ゴルフコンペも春と秋に開催いたしました。平成 29 年度も、本年同様日帰りバスツアー、秋の総会、春・秋のコンペの他に、関西 3 支部とコラボレーションイベントを企画したいと考えております。



大塚国際美術館にて



女性参加者だけで 1 つのテーブルが囲めるほど参加されました

◆広島県支部

支部長 山田 正一 (S44土木)

平成 28 年度は、6 月 11 日 (土) に支部総会、11 月 12 日 (土) に懇親会をホテルセンチュリー 21 広島で開催いたしました。11 月の懇親会では、少人数ですが、熱い時間を過ごしました。平成 29 年も、春 (6 月第 2 土曜日) と秋 (11 月第 2 土曜日) の総会と懇親会を予定しております。転勤または出張で、この時期に広島に滞在される方は、ぜひ広島支部の行事に参加いただければと思います。連絡先は事務局 (神垣 S60 建築 携帯: 080-5618-0512)



◆山口支部

支部長 小林 俊昭 (S60 建築)

まだ記憶に新しい「ロシア・プーチン大統領と安倍首相 / 会談」の地、山口県・長門湯本温泉・ホテル大谷山荘で、来たる **平成 29 年 6 月 10 日 (土)、第 65 回記念定期総会および懇親会を開催いたします。**5 年に一度の記念総会にはちょっと贅沢に、より寛いで、益々和やかに、更に賑やかに、西日本屈指の温泉旅館を会場とし、「ホテル観賞」の時期と合わせ、地方ならではの幻想的な夜をお楽しみいただきたいと思います。最近では 10~20 名ぐらいの集いが専らですが、近隣他支部からのご参加も歓迎いたしますので、ご希望の御方は、私、小林 (pxf00314@nifty.com) にご連絡いただければ、改めてご案内申し上げます。



◆鳥取支部

支部長 藤谷 治男 (S43 建築)

平成 28 年 7 月 1 日 (土)、県内の中部の三朝温泉で支部総会を企画いたしました。

支部会員は、61 名 (うち物故者は 2 名)、今回の返信数は 27 名で、新美砂会より女性 1 名参加があり花を添えていただきました。顧問の松村 博 (S20 土木) さんは高齢にもかかわらず今年も元気にご参加くださいました。なお、支部総会から 3 か月後の 10 月 21 日、鳥取県の中部で地震があり、被災された皆様にはお見舞い申し上げます。昭和 18 年 9 月に鳥取市地震 (戦時中で報道されず。) がありました。また鳥取県西部地震に続いて大きな地震でした。平成 29 年度は 7 月 1 日 (土) 砂場コーヒーで有名になった鳥取市で支部総会を予定しています。



◆島根支部

支部長 今崎 一治 (S43 経営)

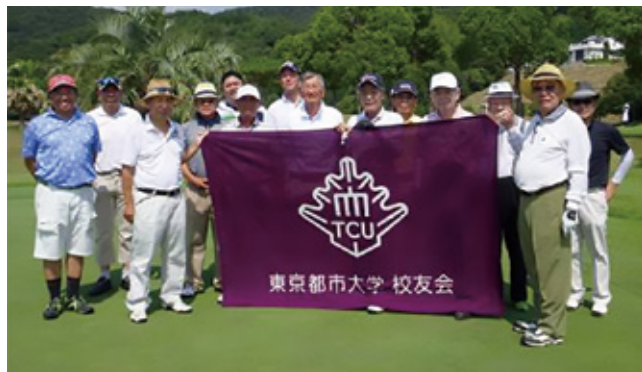
島根支部が設立した平成 25 年は「縁結び」と「神在月」で知られる出雲大社の遷宮の年で島根も賑わっておりました。その後、総会を毎年開催しており、平成 28 年 5 月 21 日 (土) 松江テルサにて開催、会員 8 名の参加がありました。平成 28 年度は、広島、鳥取、岡山の支部総会に出席をさせていただきました。初めて地区支部長会議に出席した際、最初に「お久しぶりです」と声を掛けてくれたのが岡山支部長の福島さんで、どうして知っているのか尋ねると、「空手部だったでしょ」と言われ、剣道部の福島さんと同じ講堂を稽古場としていたことを覚えておられ、たいへんうれしく思いました。そのお陰で他県の支部総会にも出席させていただくようになりました。



◆徳島支部

幹事 松尾 秀己 (H9 土木)

徳島支部親善ゴルフコンペを平成 28 年 7 月 31 日に行いました。徳島支部からは 9 名、愛媛支部から 4 名参加されました。ゴルフコンペの後に徳島支部総会を行いました。



総会後の懇親会では皆さん和気藹々と盛り上がっています。このように徳島支部での主な活動として、年 2 回の支部総会と親善ゴルフコンペを行っています。徳島に来られた際には是非参加してください。

◆愛媛支部

支部長 仙波 邦夫 (S45 建築)

総会、自主講演会、他支部とのゴルフ交流等、モデル支部めざし順調に成長してきたようでも、その参加者数のジリ貧状態が気になっていたこの頃、ついに大事件。平成 28 年度の愛媛支部総会では、なかなか進んでなかった“新美砂会”との合流が一気に加速、ついに 6 名の参加、合流に至りました。なんとまあこの華やかな雰囲気、まるで集団のお見合いですなあ！この中から愛媛県を代表する著名人が出るかもよ！



愛媛支部総会

今までとは全く違う雰囲気、明るく和やか！



懇親会ゴルフ

◆佐賀支部・鹿児島支部

佐賀支部事務局 森 孝信 (S56 機械)

鹿児島支部

平成 28 年 9 月 10 日 (土) に鹿児島支部総会・懇親会に佐賀支部有志 4 名横山敬司支部長 (S54 経営)、藤井巖 (S63 機械) 馬場友幸 (H10 建築)、森孝信で参加いたしました。当日は島津ゴルフ倶楽部で 1 プレイ楽しみ、支部総会では、郡山宣治 (S41 経営) 支部長率いる支部メンバー 10 名と佐賀支部 4 名他合計 18 名で開催となりました。新美砂会からも 3 名参加されており、鹿児島には新美砂会会員が 30 数名いらっやって、活動されているとのことでした。突然の佐賀支部との交流会のお願いに、郡山支部長はじめ事務局の池田政治 (S55 土木) 様皆様方に快くお迎えいただき誠にありがとうございました。



鹿児島支部総会

佐賀支部

平成 28 年 10 月 22 日 (土) に佐賀支部総会・懇親会を鹿島市の割烹「ひろ」で開催しました。支部メンバー 7 名の総勢 12 名でにぎやかに執り行われました。鹿島市の条例に則り地元の日本酒での乾杯で始まり、鹿島の地酒「鍋島」「能古見 (のごみ)」「肥前蔵心 (ひぜんくらごころ)」と有明海の珍味をご堪能いただきました



佐賀支部総会



日本酒で乾杯



総会翌日のゴルフ大会にて
ニヤピン賞の、左から前田 (S42 建築)、横山 (S54 経営)、森 (S56 機械)

◆大分支部

支部長 安部 實 (S40 通信)

平成 28 年度 大分支部行事を下記のとおり行いました。

[1] 大分支部懇親会

日時: 平成 28 年 11 月 5 日 (土) 午後 6 時 ~ 8 時

場所: 大分センチュリーホテル

参加者: 21 名

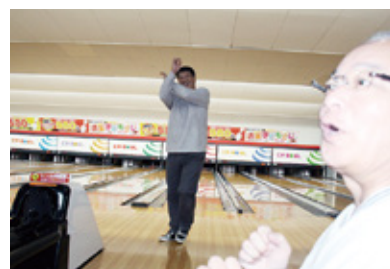


[2] ボウリング大会

日時: 平成 28 年 11 月 5 日 (土) 午後 1 時 30 分 ~ 3 時 20 分

場所: 大分 CP ボウル

参加者: 5 名



ストライク !!

◆熊本支部

支部長 東 求 (S46土木)

熊本地震のため、延期になっておりました支部総会を復興同窓会として、12月17日(土)KKRホテル熊本にて開催いたしました。会員29名の出席があり、欠席の方々からも返信はがきに近況等ご報告をいただきました。家が全壊された方もおられるようですが、怪我なく会員全員無事のようです。復興の途中ですが、頑張っていきたいと思っております。



◆宮崎支部

支部長 福永 保 (S47土木)

宮崎では、美砂会は不定期に交流会を行っていました。武蔵工業会宮崎支部は大学名称変更になってから武蔵工業大学にこだわりを持っている人が多く休眠状態になっていました。平成28年11月6日(日)に設立総会を開き、正式に宮崎支部の設立の運びとなりました。今後は役員が中心となって、会員が親睦と融和と協調を基本にまとめ、卒業生が帰郷しても頼ってもらえるような支部の運営に全力を注ぎたいといたしております。総会後の講演では、宮崎出身の吉崎副学長の、津波というリアルな問題と宮崎の魅力となっている(シーサイドフェニックス)宮崎海岸に林立する防潮林が関係するお話に皆聞き入っていました。



新美砂会の皆さんの出席の方が多かった



支部長挨拶

◆沖縄支部

支部長 翁長 武行 (S33建築)

平成28年10月1日(土)、沖縄支部を正式なかたちで発足する事になりました。沖縄県内に在住して元気に活躍しておられる方、武蔵工業大学、東横学園女子短期大学、東京都市大学を卒業され沖縄へ帰郷された方々、東京近郊に在住され活躍を続けていらっしゃる方、住所等把握出来た卒業生、約160人の方々に葉書で通知を出しましたが返事を受けた方々から26人の参加があり、各々、安堵いたしました。沖縄支部は、同窓生の年齢差がありすぎる事も今回は実感としてありました。卒業時に帰郷し地元官庁や企業に就職される過程、等を整理された資料があれば呼び掛けて会員を増やすことに役立てたい。



新美砂会の皆さんの参加が多く、とても華やかです

◆横浜市役所支部

幹事 黒崎 秀次 (S57土木)

平成 28 年度総会・懇親会を、横浜中華街の同發別館にて 11 月 4 日に開催しました。当支部は昭和 37 年わずかな会員数で発足しましたが、現在は現役会員 120 名、賛助会員 46 名と 166 名の大きな組織に成長しています。

開催当日は、校友会会長の吉田様 (S43 建築)、副会長の松村様 (S49 機械)、職場支部部会長の望月様 (S41 生産)、就職活動で担当の都市工学科吉川先生にご出席いただき、校友会活動や学校の近況などをお話いただきました。年に 1 度の貴重なイベントを、とても楽しく過ごすことができ、最後は武蔵工、都市大の両方の校歌を全員で合唱してお開きとなりました。

まだ、都市大卒業生が少数であるので、都市大校歌を歌える人が少なく、これからは、練習して大きな声で合唱できればと思っています。



新しく入庁しました。先輩方、よろしくお願いします！



OBの御挨拶です。なつかしいお話をいただきました

◆鹿島柏会支部

河合 淳 (H27 建築)

平成 28 年度は 4 月に支部総会兼新入社員歓迎会を鹿島建設本社にて開催いたしました。御来賓として校友会吉田勝会長、勝又教授、濱本教授、岩尾教授、西山教授にご出席いただきました。毎年恒例となっているこの新入社員のあいさつですが、入社 2 年目の自分自身も昨年、あいさつをさせて頂き大変緊張したことを鮮明に覚えており、新入社員を見て時間の早さと二年目の自覚が湧きました。年に一度ではありますが、このような会を通じて先輩方と交流の機会があることは大変素晴らしいことであり、団結の強さを感じます。今後の活動として、平成 30 年卒業予定の学生を対象に鹿島建設グループの説明会や現場見学会の開催などを積極的に行っていく予定です。



◆京三柏会支部

前幹事 記虎 正幸 (H13 通信)

京三柏会支部では、例年 5 月に正会員と OB 会員が一堂に会する年次支部総会を開催しております。平成 28 年度の支部総会は平成 28 年 5 月 17 日に横浜中華街の萬珍樓點心舗にて開催しました。正会員 34 名・OB 会員 4 名にご参加いただき、各職場での業務の情報交換や OB 会員の方の近況を伺うことで親睦を深めることができました。

社内に職場支部があることは、部署を横断する業務に取り組む際に同窓の先輩・後輩の協力を得やすくなるという大きなメリットにつながっています。今後は、年 1 回の総会だけではなく、こまめに懇親の場を設けていきたいという動きもあるようです。

これからも、校友会の活動を通して、ベテランから若手までの交流を深めて行きたいと思っています。



■機械工学科

主任教授 眞保 良吉

まえがき

卒業生の皆様方には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。以下に、平成 28 年度の機械工学科の近況をご報告させていただきます。

卒業と就職状況

機械工学科では平成 28 年 3 月に 113 名が卒業し、その内 28 名が大学院修士課程（内、他大学大学院 1 名）に進学し、82 名が就職、その他が 3 名でした。また大学院では、21 名の修士修了生について 19 名が就職という結果でした。

新入生

平成 28 年の入試では、合格数を厳し目としたため機械工学科は最終的に 104 名の入学数にとどまりました。また大学院機械工学専攻修士課程には 27 名が入学しました。平成 27 年度の学部入学学生から対象となる TAP（2 年後期でのオーストラリア留学）には、平成 28 年度は 12 名が登録を行っています。

その他

新入生のフレッシュャーズキャンプでは、前年度に続きバレーボール大会と、パスタタワー製作（スパゲッティの乾麺で塔を作る）を行わせ、創意工夫の面白さを体験させました。また新人の教員として、機械材料研究室に丸山恵史講師が加わりました。このように学科教員一同、教育・研究の改善に努めております。卒業生の皆様には、これまでと同様ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■機械システム工学科

主任教授 田中 康寛

平成 28 年 3 月に第 16 期生 104 名、機械システム工学専攻修士 29 名と博士 1 名がそれぞれ卒業、修了し、4 月には学部新入生 91 名、大学院新入生 41 名（博士課程 4 月入学 1 名と 9 月入学 2 名を含む）を迎え、記念すべき設立 20 周年目がスタートしました。4 月には新入生の歓迎行事であるフレッシュャーズキャンプが湯河原温泉で開催され、教職員との親睦が図られました。

10 月 29 日（土）には、恒例となりました、第 9 回 MESSAGE (Mechanical Systems Symposium by all Ages) が、学園祭の時期に合わせて開催されました。今年度も、若手の卒業生 6 名をパネリストとしてお越しいただき、OB から寄せられたアンケート結果をもとにパネルディスカッションを実施しました。現役学生にとっては、様々な視点から見た学習の意義を改めて認識するとともに、就職へモチベーションを高める大きなきっかけになりました。皆様のご協力に感謝します。なお詳細は大学ホームページの“トピックス詳細”をご覧ください。



MESSAGE のパネルディスカッションのパネリスト

■機親会

会長 松村 慶一（S49 機械）

機親会は、現在 15,387 名で構成されています。既に東京都市大学になって 4 期の卒業生および修了生（学部 851 名、大学院 210 名）が巣立ちました。そして昨年は機親会にとって記念すべき多くの事柄がありました。

★機親会発足 80 周年記念総会・講演会（参加者 108 名）を大学祭、ホームカミングデー（10 月 30 日）に同時開催しました。当日は会長から機親会発足からの変遷を、そして安味貞正名誉教授（S33 機械）に「母校への思い」と題して講演いただきました。皆様と共に 80 周年を祝い、将来に向かっての繁栄に研鑽、努力を誓いたいと思います。

★本田技研工業㈱代表取締役社長八郷隆弘氏（S57 機械）をお迎えして、昨年の入学式の日（4 月 2 日）に、記念懇親会（参加者 104 名）を開催しました。大学院入学生を招待し、OB・OG との懇談ができたことは、本会の本望との思いを新たにしました。

本年は、会員の相互交流をより一層活発にするよう取り組みます。HP、メールなどのインフラを整備し、研究室動向、会員相互の情報交換などの情報発信を始めます。



80 周年記念総会・講演会



八郷社長と大学院新入生

大学が発行する主な冊子

名 称	Web（大学のホームページからのリンク）	主対象
東京都市大学 大学ガイド	ホーム>大学ガイド	受験生
東京都市大学 大学案内	ホーム>資料請求>大学ガイド請求	
TCU QUARTERLY—都市大だより—		
研究室ガイド	ホーム>研究室ガイド	
TCU Research Directory（研究者一覧）	ホーム>Research Directory	在学生
学修要覧（学修評価及び卒業・修了認定基準）	ホーム>情報公開（各種データ）>学修評価及び卒業・修了認定基準	
シラバス（教授要目）	ホーム>学部・大学院>シラバス（教授要目）	
東京都市大学（都市大と卒業生をつなぐ広報誌）	—	卒業生

※変更されることがあります。

■原子力安全工学科

主任教授 横堀 誠一

校友会のみなさん、こんにちは

原子力安全工学科は学科開設以来この4月で満9年、準備期間を含めれば早くも10年目になります。十年一昔とはよく言ったもので、この間に福島事故を経験しました。それから6年になります。一時は国内で全て止まった原子力発電プラントも安全性の対策が強化されて数基が再稼働するようになりました。

社会的にもこうした動きや福島でのデブリが記事にされる昨今ですが、学科としては今後の我が国のエネルギー問題を考えながら安全な原子力発電を学び、解決しなければならないところは研究に落として進めています。どうか暖かい支援をお願いします。

トピックスとしては順調な就職を背景に、学科の教育・研究・運営に関して日本原子力学会から貢献賞を頂きました。学科開設から10年にもなると教員も交代の時期で、次の10年に向けて新しい血を入れるべく、この4月からは3名もの世界的な専門家が着任されます。しかも教員の平均年齢は50歳という若い集団に衣代わりします。学科の定員も30人から45人に50%増となります。どうか新しい学科にご期待ください。

世の中的情勢はめまぐるしく変化しますが、どんな時代になろうともエネルギーの一角を占める量子エネルギーの需要はあると確信します。安全のマインドをもった技術者を送り出していきます。学生の親睦団体である「閃源会」も素晴らしい活動が続けて、頼もしい限りです。皆さまのご支援をお願いします。



■電気電子工学科

主任教授 野平 博司

4月に多くの新入生を迎え、例年通り新入生、補助の上級生およびクラス担任などの教員が参加して1泊2日（鴨川ホテル三日月に宿泊）のフレッシューズキャンプ（教務ガイダンス、スポーツ大会、グループ討議、飯盒炊爨などを行う）で新学期がスタートしました。新入生が、見知らぬ他人から友達を作ったり、教員や上級生との面識をつくるのが狙いの行事で、初めての大学生活を円滑にスタートするのに大変効果的です。掲載の写真（学科のホームページ <http://www.ee.tcu.ac.jp/> から）は2日目のマザー牧場での飯盒炊爨後に撮ったものです。学科の教職員については、平成28年度から、これからの発展が期待されているスマートグリッドなどの電力分野が専門の中島教授が着任されました。今後も、当学科の魅力の向上を目指して改革を行っていきます。最後に、平成28年度の就職状況は、企業から即戦力として期待されている大学院修了者については全員内定しましたが、残念ながら学部卒は全員ではありませんでした（1月末時点）。来年度以降は学部卒も含めて100%を目指して教職員一同学生指導を工夫して行きます。



■原子力友の会

学生と教職員と卒業生の交流の場の創出に向けて

羽倉 尚人 (H17エネルギー基礎)

■2016年6月12日、大学（世田谷キャンパス）のオープンキャンパスの日に合わせて定期総会を行った。総会に参加する卒業生に現在の学科の様子、研究室の状況を見てもらうことにもつながると考え、このような日程での開催とした。オープンキャンパス（写真）には、学生も説明要員として参加しているため、その学生にも総会に参加してもらうことができた。さらに、教職員にもいつもより多く参加してもらえた。総会では、今回のように学生と卒業生がもっと交流できる場を作れないか、年末から春にかけて先輩（卒業生）から後輩（在学生）へ就職活動に資するアドバイスをを行う会ができなにか、といった提案があった。例年こうした提案はあるが実現できていない。お互いに膝詰めで交流する機会はやってみると非常に有意義で、学生にとって良い刺激を与えるので、ぜひ実現に向けて進めていきたい。

■年度末の卒論発表会で優れた発表をした学生に対して、学位授与式の際に「友の会賞」を贈っている。本会の活動の詳細は、ホームページに掲載している。ぜひご覧ください。
(<http://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/tomo/index.html>)



■電友会

会長 石田 弥 (S45電気)

電友会は母校の電気電子工学科、電気電子情報工学科、電気工学科、電気科のOBの同窓会（学科同窓会）ですが、最近では60歳未満の若い会員の参加が極端に少ない状況にあります。

会の活性を図るべく、会員が電友会の目的（会員相互の親睦、知識の交換、母校の発展に寄与）に深いPleasureを感じられるためにビジョンを作成し、学生支援など行動目標を設定致しました。

既に会員のご協力を頂き学生支援として電検三種の取得支援やフレッシューズセミナーを実施致しました。当会は昨年11月に創立50周年を迎えました。記念事業を計画しその取り組みを契機に一人でも多くの会員の参加や協力を呼びかけて参ります。また電友会のHPを作成致しました。東京都市大学のHPよりアクセスして下さい。引き続き皆様のご協力、ご参加をお願い致します。
<平成28年度の報告>

1、幹事会（平成28年4月16日）：ビジョン「全国・全世界の会員を発掘し、会員相互の交流の場を創成し、会員が自発的交流を図ることで、会員一人ひとりが誇りを感じる電友会を実現する」を採択した。

2、常任幹事会（計4回開催）
3、50周年記念事業準備会（計2回開催）

<平成29年度の予定>

1、幹事会（未定：平成29年4月に開催）
2、電友会設立50周年記念式典（平成29年7月8日）

平成29年7月8日（土）開催 電友会設立50周年記念式典
於：東京都市大学メモリアルホール

■医用工学科

主任教授 森 晃

医用工学科最近の近況

医用工学科は、臨床計測器械工学（森、和多田）、生体計測工学（島谷、京相）、知覚システム工学（桐生、平田）、生体認知工学（仁木、桃沢）4つの研究室からなり、4つの研究部門が互いに連携しながらヒトの健康に役立つ教育と研究を行っています。学科は2007年に開設され、より受験生に理解しやすい学科名称のために、2013年に生体医工学科から医用工学科と学科名を変更しました。

医用工学科は医学と工学を勉強したい学生が入学してきます。最近の医療機器の進歩は著しく医療機器のシステムを理解するのに教員の方も苦労しております。最近では、臨床工学士の資格を取得するために入学してくる学生も増えてきており、学科としては学部4年生で専門学校と連携しダブルスクール（大学と専門学校両方）に通うことを可能にし卒業と同時に臨床工学士の受験資格を取得することが可能となりました。2年、3年生では、ラット、ヤギなどを使用し実際の医療機器を使用しながら勉学する実物教育があります。また、旗の台の昭和大学病院で実際の高度な医療機器が使用されている現場を、健康診断的医療機器を東急病院で見学する実習があります。このように、医療機器装置の現状や配慮についての学習は、装置の原理や使用法を学ぶ座学では難しく、実際の現場での経験をいかして学習することができる最高の場となっております。

■エネルギー化学科

主任教授 高橋 政志

エネルギー基礎工学科として1997年に設立され、今年で20年目となりました。昨年3月に16期生81名を送り出し、4月には72名の新生（うち女子学生17名）を迎え、学科の歴史が少しずつ積み重なっていくのを実感しています。

フレッシューズキャンプでは一昨年と同じ千葉県勝浦のホテルに宿泊し、1日目はバレーボール大会、2日目は太平洋セメント中央研究所を見学しました。また、初日の夕食後には化源会の上級生による懇親会の企画があり、新入生同士および新入生と教職員間の距離が一気に縮まって、大学生活を順調にスタートしています。

教育講師の坂井秀敏先生が着任されました。坂井先生は都立高校の校長先生として多くの実績をもち、理科教育でも指導力に定評があります。授業は演習科目を中心に、1、2年生の専門基礎科目を担当していただきます。

卒業生の皆さまにおかれましては、様々な視点からのご意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



新入生歓迎会



研究室対抗野球大会



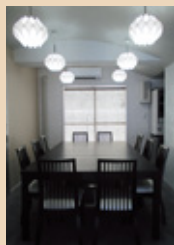
フレッシューズキャンプ

東京都市大学校友会館・自由が丘クラブ

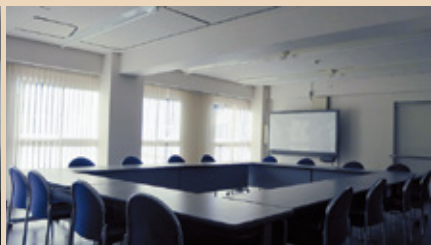
東京都市大学校友会館・自由が丘クラブ（旧：武蔵工業会館 柏クラブ）は、自由が丘駅から九品仏駅寄りのバス通りを田園調布駅方向に歩いて約7分の場所にあります。2つの会議室とサロンがあり、東京都市大学校友会会員（在学生、卒業生、教職員）であれば自由にご利用いただけます。会議や懇親会などにご利用ください。会議室の予約はホームページからも簡単にできます。学科同窓会、クラス会、クラブOB・OG会の打合せ、懇親会などにご利用いただいています。

設備や飲食など、詳しくは気軽にお問い合わせください。なお、ご利用・ご予約にあたっては、ウェブに掲載の「会議室利用規則」をご一読ください。

東京都市大学校友会館・自由が丘クラブ（旧：武蔵工業会館 柏クラブ）は、1964年に設立され、東京都市大学校友会、校友会会員などが株主となっている株式会社武蔵工業会館が運営しています。



サロン



会議室「柏」



会議室「桐」



校友会館入口

■利用可能施設：会議室「柏」（会議24名、講演54名、立食60名）

会議室「桐」（会議12名）

サロン（6名）

■利用可能時間：火～土曜日13～17時、18～21時（原則）

■利用料金：東京都市大学校友会会員（申込者が在学生、卒業生、教職員）は無料（室料）

■食事：1,000円/人から、合計金額10,000円から利用できます。

■宴会：料理は2,000円/人から、飲み物も用意できます。

■持込飲食物：上記以外の飲食物は利用者でご用意ください。持込料は無料です。

■利用申込・問い合わせ：

□電話・FAX：03-3721-1052（火～金曜日13～17時）

□E-mail：mitkaikan@kiu.biglobe.ne.jp

□URL：http://kashiwa-club.jp/ [武蔵工業会館](#) [検索](#)

□住所：158-0083 世田谷区奥沢5-37-9

武蔵アビタシオン2階（株）武蔵工業会館

■建築学科

主任教授 勝又 英明 (S55建築)

建築学科は平成 28 年度、学部生 474 名（内女性 150）、大学院生 50 名（内女性 10）が在籍しており、30%が女性です。（平成 29 年 1 月時点）昨年度より女性比率が 3%上昇しました。依然として、世田谷キャンパスの中では女性比率が最も高い学科です。平成 28 年度は、専任教員 15 名、教育職員（技術員）2 名、事務職員 1 名の体制で（濱本先生の後任である）専任教員 1 名欠員でしたが平成 29 年 4 月より新任の教員が加わる予定です。

就職状況ですが、オリンピック景気のためか好調です。設計事務所や建設会社だけでなく、公務員や鉄道会社、不動産会社など多様な企業に就職していきます。就職状況については本学の HP 内「就職・キャリア」業種別就職状況（建築学科、建築学専攻）をご覧ください。如学会には特別講義 (1) (建築の実務)「如学会寄付講座」や「進路支援プログラム／進路ガイダンス」により、強力なご支援を頂いています。この就職状況の好調さは、如学会を始めとした卒業生の皆様のご活躍とご支援のお蔭と思っております。ただ、残念なことに就職状況が良いため、大学院進学者がやや頭打ちです。本学建築学科の活性化には大学院の皆さんの研究への参画が不可欠です。一度社会へ出て、まだ大学院に戻ってきてください。社会人入学の場合、授業料等の大幅な減免があります。（授業料は、修士課程の場合 50%減免、博士課程の場合 90%減免です。）

建築学科の活動につきましては、東京都市大学 WebSite 内にあります、建築学科 HP をご覧ください。また、年に 2 回発行の如学会 News の中でも、毎号「建築学科の近況」により建築学科の活動を報告しております。

■如学会

会長 山岡 嘉彌 (S46建築)

この 1 年も校友会並びに会員各位には大変お世話になりました。以下にこの 1 年の如学会主催の開催行事を列記します。

- 1)「定期総会・講演会・懇親会」を 2016 年 6 月 4 日（土）渋谷エクセルホテル東急にて開催しました。参加者合計 100 余名。卒業生である東京都議会議長、川井しげお氏による「東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けて」とのご講演をいただきました。（次年度：2017 年 6 月 3 日（土）開催予定）
- 2)「函館・都市建築視察ツアー」を 2016 年 3 月 26 日（土）～28 日（月）（2泊 3 日）開催しました。昨年の「金沢ツアー」同様、新幹線開通初日乗車で、先生方をはじめ、校友会、柏三水会の方々と共に、22 名が参加しました。
- 3)「如学会主催・進路支援プログラム／進路ガイダンス」が 2016 年 11 月 23 日（水）開催（4 年目）されました。また、今年度からの校友会による「進路相談会」の立上げに如学会も協力し、去る 1 月 18 日（水）35 社、学生登録 150 名と、初回としては上々の成果を上げられました。
- 4)「建築 100 人展 2016・大学展／上野浅草展」
大学展開催後、「浅草文化観光センター」と「隅田公園リバーサイドギャラリー」の 2 会場にて巡回展（2016 年 12 月 1 日（木）～12 日（月））を開催しました。観光地らしく外国の方々や一般の方々、学内外の多くの学生・同窓生が鑑賞に訪れ、懇親を深めることができました。
- 5)「夏期特別講義」（2016 年 8 月 1 日（月）～5 日（金））開催。
11 年目を迎え、18 人の OB、OG による社会を知る 20 のテーマの講演と討論会、懇親会が行われました。

■都市工学科

主任教授 丸山 収 (S58土木)

都市工学科および都市工学専攻では、平成 27 年度の土木技術検定試験で 89 名の合格者が出ました。これは平成 27 年度の所属別合格者数で全国 1 位の人数です（本学調べ）。土木技術検定試験は、大学卒業程度の能力を問う検定試験であり、土木学会が実施しているものです。今後も、本学唯一の JABEE 認定プログラムとして、教育の質保証に関する改善活動を継続して実施して行きます。

また、国際的に活躍できる技術者育成のための取り組みを行っています。昨年 11 月にフィリピンのデラサル大学で本学学生 8 名が研究発表を行いました。また、さくらサイエンスプログラムによりタイ国タマサート大学学生を受け入れました。

平成 28 年度からスタートした、大学院都市工学専攻の社会人対象コース「社会基盤マネジメント」に、20 名程度の学生が入学しました。学科の動向は、<http://www.civil.tcu.ac.jp/> をご覧ください。

学生の就職状況も好調です。学生の就職には、本学卒業生の皆様の強力なご支援をいただいております。

最後になりますが、昨年 7 月に本学名誉教授 神山光男先生がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りします。

■緑土会

副会長 小林 哲男 (S47土木)

私は平成 26 年度の定期総会において緑土会副会長に選出され現在も務めさせて頂いています。又、一昨年より「緑土会活性化に向けて (PJ)」を実施し新しい施策に沿って会員・スタッフ共々活動しております。今年度の主な活動報告の詳細は緑土会ホームページに掲載しております。校友会 HP (<http://www.tcu-alumni.jp>) から学科同窓会(クリック)・「緑土会 HP」がご覧いただけます。

(1)「定期総会・講演会・懇親会」2016 年 11 月 12 日（土）に参加し易いように場所と開催曜日を変更し、東京都市大学世田谷キャンパスにて開催しました。今回は初めて「講演会」も企画、皆様の積極的な参加を頂き、交流と親睦を深める事が出来ました（招待者・在学生を除き 103 名）。平成 29 年度は 2017 年 11 月 11 日（土）世田谷キャンパスで開催します。

(2) 4 月以降、幹事会 2 回、役員会・代表幹事会 3 回、総務会 6 回を開催し、「緑土会の活性化」「学生支援」「会則変更」等の課題に取り組みました。

(3) 緑土会の実質的な活動の為に 5 つの部会を組織化し、約 40 名の部員にて活動を開始しております。「財務部会」「広報・校友会部会」「組織管理部会」「学生支援・セミナー部会」「会報・HP 部会」です。皆様の参加を是非お願いします。

(4) 昨年 4 月より「緑土会 HP」に会報「りよくど」を毎月末発行し、12 月末には 9 号の掲載となりました。是非ご覧頂く様にお願いします。この項での情報の収集・投稿の募集をしています。ご連絡下さい。

(5) その他 活動予定等は、「緑土会 HP」に掲載しています。今後、会員への情報は「緑土会 HP」でお知らせし、ハガキ等では行わない予定ですので「学年幹事」の皆様は特にご注意下さい。

■情報科学科

主任教授 宮内 新

平成 28 年度は 97 名の新生が入学してきました。平成 28 年 12 月 1 日現在、1 年生 96 (11) 名、2 年生 107 (19) 名、3 年生 107 (12) 名、4 年生 106 (15) 名となり（括弧内は女子学生数内数）、総数は 416 名になります。近年女子学生数も順調に増加していることがわかります。

平成 28 年 4 月より教授として大屋英俊先生が着任されました。大屋先生のご専門は制御理論で、ご着任でより密な教育が実施でき、学生諸君の実力が向上するものと確信しております。また、平成 27 年 4 月より、田口亮教授が知識工学部長を務めておられます。平成 28 年度からは大学全体の国際化重視の方針に従い本学科入学生も TAP に参加し、現在準備教育（英語）の学習に励んでおります。

平成 28 年度の就職状況は以前に比べて大幅に改善され、学生諸君の内定率は前年度に比べ上昇しました。しかし企業の選抜基準は厳しく、就職活動に苦勞している学生もおります。平成 27 年度から毎年の就職協定の変更により、就職活動期間が実質上大幅に伸びましたが、実態は以前と変わらない状況という企業も多く、全く予断を許さない状況にあります。

本学科は今後も、教育の質をさらに向上すべく努力いたします。合格者の偏差値や卒業生の就職内定率を維持、向上させていくために、今まで以上のご支援をお願い致します。

■情報通信工学科

主任教授 佐和橋 衛

情報通信工学科では、平成 28 年度は、61 名の学生が入学しました。平成 28 年度は、女子学生数が、4 年生が 7 名、3 年生が 9 名、2 年生が 6 名、1 年生は 7 名で、女子学生数の比率が増大している傾向が続いています。最近数年間に入学した学生は、非常に真面目であるものの、特に男子学生は積極性にやや欠如している傾向が見られます。一方、平成 28 年 3 月に卒業した本学科の 4 年生は、大学院への進学者の比率は 40% 弱であり、就職は引き続き高い就職率を実現しています。学科学生の行事として、通工会の役員の学生が主導して、2 年生に対して各研究室の見学が行われました。本学科の各研究室では、学生の技術力、英語力の向上と視野を広げることを目的として、国内外の学会発表を積極的に行っています。平成 14 年度より本学にご着任され、知識工学部長をご歴任されるなど、本学部、本学科の運営に多大なご貢献をされました山本尚生教授が平成 29 年 3 月でご退職されます。引き続き本学科は、企業、社会の要請に応える技術者を育成すべく教育・研究により積極的に取り組んでいきますので、ご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



平成 28 年 4 月の 1 年生のフレッシュャーズキャンプで各班の発表準備作業の様子

メールアドレスの登録を！！

校友会では行事等をお知らせするサービス提供や情報発信に電子メールの活用を進めていきたいと考えています。つきましては、ぜひ皆様が現在お使いの電子メールアドレスの登録をお願いいたします。

〈登録方法〉

下記の URL にアクセスし、住所、氏名、卒業年、学科、会員番号（会報在中封筒のお名前右下の番号）、メールアドレスを入力して登録してください。



スマートフォン、携帯電話からは QR コードをご利用ください。

URL : <http://www.tcu-alumni.jp/ssl/htdocs/>

メールアドレスをお持ちでない方には FAX 番号を登録いただき、FAX で同様のサービスを受けることができるようにいたしますので備考欄に“FAX での案内希望”とご記入の上登録してください。

登録いただいたメールアドレス等の個人情報は校友会活動以外の目的には利用いたしません。また、情報の管理には細心の注意を払ってまいります。

お問い合わせは校友会事務局（koyukai@tcu.ac.jp, 03-3703-3862）までお願いいたします。

■通友会だより

会長 鈴木 威一（S41 通信）

平成 28 年度総会が平成 28 年 6 月 21 日（土）に開催され、全役員満場一致のご推挙を頂き、新通友会会長に就任いたしました鈴木威一（たけいち）と申します。微力ではありますが今後は大島前会長（S40 通信）の路線を継承するとともに、年々新たな事を付け加え、通友会のますますの発展に寄与したいと考えております。特に学科教員との連携強化、学生の会である通工会と協力イベント開催、さらに財務体質の健全化と役員の若返りの 4 点をこれからの重点と考えます。早速この総会の席に佐和橋主任教授をはじめ教員、通工会役員他学生諸君も多数参加して榊ポーズの挽野社長（H02 通信）による講演とデモンストレーションが盛況裡に行われました。通友会役員も、会計 今井氏（S44 通信）、新規に総務 伴城氏（H05 通信）、広報 金子氏（H05 通信）と大幅に若返り、新財務担当副会長として矢澤氏（S47 通信）を加えました。9 月には通工会と共催のバス研修会として、NTT と JAXA を訪問しました。11 月には学生向け講演会を開催しました。平成 29 年度総会は、5 月 20 日（土）午後開催します。詳細はホームページにてお知らせいたします。



■経営システム工学科

主任教授 森 博彦

経営システム工学科は現在、常勤として教授4名、准教授3名、講師3名、技師1名、技師補1名の12名で運営しております。平成28年度は学科の国際化を目指して、松崎特任教授を中心に「海外社会人講座2016」を12日間にわたり開催、タイから若手の技術者5名を受け入れました。また、薩川技師補を中心として、台湾の政府系シンクタンクである財団法人資訊工業策進会の先生2名をお招きしてのIoTやビッグデータ等の意見交換会を開催、さらに平成29年度からの交流を目指して、マレーシアの大学を松崎特任教授と私で訪問、打ち合わせと特別講義を行いました。授業の面でも学科の特徴を強める授業として、本学出身で実業界のトップになられた先生をお招きしての「グローバル経営」や、大和証券の寄付講座「証券市場論」などを展開しております。これからも他学にはない学科の独自性を打ち出すための取り組みを全員で進めていきたいと考えております。OB・OGの方にもいろいろとお願いすることもあるかと思ひます。ご協力のほど、お願い致します。なお、「グローバル経営」は本年度より二子玉川の夢キャンパスで開催しており、卒業生の方にもオープンにしております。興味のある方はご参加ください。



本学三木学長（写真左）とタイ王国からの受講者5名

■経友会

会長 矢崎 克実 (S54経営)

平成28年度の活動は学生とのつながりを広め、深めることを主眼にスタートしました。

まず、学生団体「経工会」との共催にて経営システム工学科新入生歓迎会を開催。その後、経工会学生との交流、支援活動として卒業生より協力企業をご紹介いただき、下記の通り工場見学を実施いたしました。

- ・平成28年 9月 東京急行電鉄株式会社 長津田車両工場
- ・平成28年 11月 株式会社京三製作所
- ・平成29年 2月 日産工機株式会社

今後は、工場見学にとどまらずインターンシップ、就職支援等に発展出来るよう活動をすすめていきたいと考えています。皆様のさらなるご協力ご支援をお願いいたします。

また、共催をしている特別講義「グローバル社会における経営」は3期目となり教室が二子玉川の「夢キャンパス」になりました。是非、一度ご参加ください。

尚、平成29年度経友会総会は昨年同様、世田谷祭のホームカミングデーに合わせて開催いたします。お問い合わせの上、ご出席下さいますようお願い申し上げます。



東京急行電鉄株式会社 長津田車両工場

■自然科学科

主任教授 飯島 正徳

平成28年は、自然科学科8期生26名（男16名、女10名）が入学し、4期生36名（男25名、女11名）が卒業しました。専任教員に変更はありません。平成28年度は、集中的受講による教育効果の向上、自主的な学習体験の促進として、全学的に1年4学期のクォーター制が導入されました。また本学科では学科定員増が認可され、平成29年度から定員60名になります。以下、学科の活動及び近況を紹介いたします。

平成28年度は4月のフレッシュヤーズキャンプを房総の鴨川シーワールドで行いました。5月には12日間の日程で「野外調査法及び実習(2)」(於スコットランド)が行われ、鈴木先生、萩谷先生、蛙原先生引率のもと3年生9名が参加しました。8月には7日間の日程で宮崎先生（非常勤講師）によるリトルペンギンの帰巢パターン調査（於ニュージーランド）に蛙原先生と学生3名が同行しました。

広報活動強化として、自然科学科の魅力というページを立ち上げ、大学ホームページからリンクしています。また、学科オリジナルサイト（<http://www.sci.tcu.ac.jp/>）の更新にも努めています。

毎年のことですが、本学科の就職活動では、本学OBの方には大変お世話になっています。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

自然科学科の卒業生も、皆様の一員として、本学及び社会に貢献する日が来ることを願っております。

■さきがけ

副会長 山田 翔馬 (H25自然科学)

早いもので、私たち一期生が卒業後に入学した学生が卒業の時期を迎えました。

今後は接したことのない学生がさきがけの会員として入ってくるため、より同窓会での交流が大切になってくると考えております。

そのためにも、平成29年度は、さきがけ創設以来初のホームカミングデーの開催を予定しており、このような新たなイベントを確実に成功させていきたいと考えております。

さて、自然科学科は平成29年より、入学者の定員が60名へと増加します。それに伴い、さきがけでは、入学者を対象としたフレッシュヤーズキャンプに要するティーチングアシスタントの費用の一部支援を決定しました。また卒業生に対しては、平成27年度より、さきがけ賞の授与を行っております。



■環境創生学科

主任教授 田中 章

「知らない大学（学部、学科）を受験する人はいない。」校友会関係者にとっては、何のことかと思われるかもしれないが、辛抱して最後まで読んでいただければ幸いです。大学の知名度は大学受験者にとっては極めて重要なファクターである。特に、横浜キャンパス、環境学部、環境創生学科のような新しい組織にとってはなおさらである。

昨年9月、校友会の静岡支部総会で講演する機会をいただいた（静岡支部の報告12ページを参照されたい）。その時の懇親会には多くのご年輩の卒業生が参加されたが、横浜キャンパス、環境学部、環境創生学科をご存じの方はどなたもおられなかった。一方、横浜キャンパスよりもずっと新しい（？）等々力キャンパスの学部学科については多くの方がご存じであった。本学の校友会で、しかも当方の故郷、静岡県でのこの状況はショックであった。

たいへん活発な卒業生の皆さんたちと和やかな会話が進むうちに、その理由に思い当った。世田谷キャンパスには武蔵工業大学の卒業生が、等々力キャンパスには東横学園女子短大の卒業生がそれぞれおられ、どちらも周囲の方や若い世代に出身校の今をお話される機会があるだろう。歴史の重みである。一方、横浜キャンパスには…。新しい組織には継続的な広報が重要な所為である。

静岡講演でご紹介したように、我々も研究活動を通して知名度を上げるために、地方の中高生や行政、企業との具体的な連携に一生懸命、努めています。どうか校友会関係者の皆さん、「環境保全分野を専門」とする、横浜キャンパス環境学部をこの機会に改めて興味を持っていただき、機会があればご紹介いただければ幸いです。

■社会メディア学科

主任教授 川村 久美子

社会メディア学科では様々な試みを通して人材発掘に積極的に取り組んでいます。今回は、東京都市大学メディア情報学部主催の「高校生デザインコンテスト」を紹介します。私たちの身の回りにある「もの」や「かたち」、それらを活用してわかりやすいサインや標識を創ることは社会にとって大切な仕事です。このコンテストでは、こうしたサインや標識を高校生に丸一日かけてデザインしてもらいます。社会メディア学科が出題するのはピクトグラム部門で、「人を惹きつけるサインや標識（かたち）のデザイン」が課題です。今年のテーマは、「知ってもらいたい日本の文化：日本語が読めない海外の人に日本文化を楽しむながら知ることができる案内・注意・禁止に関する三種類の標識を作成する」でした。作品は8月のオープンキャンパス時に発表され、受賞作が決まります。作品や受賞結果はAO型入試でのアピール材料に用いることができます。平成28年度は、社会メディア学科のAO型入試に前年の7倍の数の受験生が集まりました。もちろん、コンテスト受賞者も受験しました。



■環境マネジメント学科

主任教授 小野 直樹

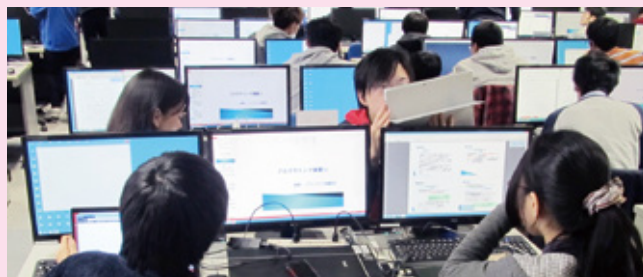
地球環境問題には、気候変動、生物多様性など様々な問題がある。その解決には、問題発生の因果関係の究明が不可欠であるが、因果関係が明らかになっても、それらの問題が実際に解決されるわけではない。たとえば、気候変動問題について考えてみると、大気中の二酸化炭素の排出量の大幅増加が原因であることは20年以上前から指摘されているものの、二酸化炭素削減に関する京都議定書が1995年に締結されてから22年目にあたる現在も排出量削減は実現されておらず、この問題への取り組みに関する締結国会議（COP）がこれまで20回以上開催され協議されてきたものの合意に至っていないことから理解される。気候変動問題は、一昨年12月にパリで開催された21回目の会議（COP21）で、ようやく締約国が法的拘束力を前提として削減に取り組むことに合意したものの、最大の排出国の一つである米国がこの問題への取り組みに消極的なトランプ政権が2017年に発足したことを考えると、依然として予断を許さない状況にある。このように、地球環境問題は、因果関係が究明されても実際の解決につながるわけではなく、国家にとっての経済性、企業にとっての採算性、法律など国内の制度的および政治的合意、社会の理解、国際政治における合意形成など、因果関係の究明とは全く別の様々な問題への対応と、個人、社会、政府、国際社会などの協力が不可欠である。

環境マネジメント学科は、地球環境問題の実際の解決にとって不可欠な幅広い知識を習得し、社会に貢献する人材を育成することを目的として設立され、その必要性は今後ますます高くなっている。

■情報システム学科

主任教授 八木 伸行

平成28年度は、メディア情報学部情報システム学科の初めての卒業生が出る年です。情報システム学科は、IT/ICT業界でプロジェクトマネージャーとして活躍できるエンジニアを育成することを狙って設置されました。今年の卒業生も多くが、IT/ICTに関わる仕事に就く予定です。情報システム学科では、プログラミング関係の授業が多いですが、プログラミング言語は、英語と同様、道具にすぎません。学生の皆さんには、システムをどう作ったらいいのか、どう作ったら便利な安全なシステムとなるのか、どうしたら早く上手に作れるのかなど、トータルなシステム設計能力を身に付けてほしいと思って、カリキュラムを組んでいます。このために、システムエンジニアを疑似体験するPBL授業も取り入れています（写真はプログラミング演習2Aの授業風景）。大学で身につけた技術力、そして技術力を獲得する方法を自らで身につけたことが、変化の激しいIT/ICT業界を生き抜く基礎力になります。学生時代に学んだことを糧に、大きく羽ばたいてほしいと思います。



■都市生活学科

都市生活学部 学部長 川口 和英

都市生活学部は、今までにない新しい発想で創る「都市」をテーマに総合的に学ぶ社会科学系の学部として2009年4月に開設し、2013年には大学院（都市生活学専攻）を設置し、学部開設8年、大学院開設4年となります。平成27年度よりカリキュラムを改編し、「社会課題」と「価値ある都市生活」を構築していくために、「都市のライフスタイル」、「都市のマネジメント」、「都市のデザイン」、「都市のしくみ」の4領域で教育・研究をすすめています。更に、海外研修（欧州、アジア）に加え、1年次の準備教育と2年次5か月間の留学を合わせた「東京都市大学オーストラリアプログラム（TAP）」が本格的にスタートし、第1期生78名がエディスコワン大学（ECU）に短期留学し、既に帰国しています。また第2期生も2月よりECUに出発しました。こうしたプログラムを駆使し、グローバル人材の育成にも力を入れています。豪州ニューコロンプランによる学生海外短期派遣事業（10月28日～11月6日）ではECUの都市計画や都市環境を専門とする学生・教員のために、東京の湾岸沿いや渋谷や二子玉川の都市開発、また歴史都市・鎌倉を巡りながら、日本の都市計画と開発の実際を学ぶプログラムを実施しました。同プログラムには、ECU学生10名とティム・パーキンズ先生、また本学からはTAP参加の学生や本学部の学生が参加しました。



■児童学科

人間科学部 学部長 井戸 ゆかり

平成28年度は104名の新生を迎え、スタートし、4月7日～8日は、フレッシュキャンプで河口湖に行き、新入生同士、教員との親睦を深めました。シニアスタッフ（2年生及び3年生）10名が参加し、新生の良きロールモデルとなっていました。



大学のグローバル化に伴い、毎年実施される学部の学術講演会は、平成27年度に引き続き、スウェーデン大使館、本学国際センターとの共催でスウェーデンの児童演劇の専門家を招き開催しました。また、「トビタテ！留学JAPAN」で、カンボジアで2か月間の支援活動を行った学生をはじめ、平成29年2月には本学部の学生2名が初めてTAPに参加し、その成果が目まぐるしく目撃されます。

就職に関しては、公務員（公立保育士を含む）に平成29年1月現在で22名が内定し、例年、多くの公務員を輩出しています。これは特筆すべき点でもあります。保育者になるばかりでなく、一部上場企業を含めた一般企業に就職する者、大学院に進学する者もあり、卒業後の進路は多岐に亘ります。

10月末に行われたホームカミングデーでは、東京都市大学、東横学園女子短期大学の卒業生が一同に集い、世代を超えて交流することができ、これも校友会の皆様のご支援のお陰だと深く感謝しています。

■楷の木会

会長 吉村 正伸（H13環境情報）

2016年6月11日（土）、横浜祭初日、楷の木会主催の平成28年度Homecoming Day（第11回同窓生集い）を開催いたしました。

今回より、「第一部横浜キャンパストークライブ“YC talks”」「第二部懇親会」の二部制とし、第一部では先生と卒業生3名による講演会を実施しました。

メディア情報学部清水由美子教授による特別講義「社会人になった君たちに贈る補講」（講義テーマ「ピクトグラム（絵文字）のある世界」）では、多くの清水研究室の卒業生が集まり、懐かしい先生の授業に聞き入っていました。

卒業生による講演「卒業生のいま、そしてこれから」では、1期生：川邊雄司さん（H13環境）「お笑い芸人からのIT社長」、5期生：我妻悠さん（H19大学院）「ITベンチャーからフリーランスへ」、6期生：植野博士さん（H17情メ）「電車を売る人」の3名に大学卒業後のライフイベントを振り返りながら、ご自身の活躍ぶりを講演して頂きました。

第二部の懇親会では、合計87名にご参加頂き、多くの在校生も参加しました。開催中には託児所とキッズスペースを設置し、お子様連れでのご参加がしやすいように配慮いたしました。

平成29年度もみなさまのご参加をお待ちしております。



■新美砂会便り

副会長 川辺 加代子（S50国文）

はじめに、平成28年は4月の熊本地震を始め各地で多くの災害が起きました。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

— 報告 —

◇新美砂会総会・等々力キャンパスホームカミングデー開催

平成28年10月31日、第2回総会を開催し、本会の活動・会計報告と母校と校友会としての取り組みの状況などを報告いたしました。引き続き前年同様に等々力キャンパスホームカミングデーが開催され、ご来賓の先生方や卒業生とともに懇親を深めることができました。今回は若い等々力会メンバー中心に会の進行を行ったので、今までにも増して明るく楽しいホームカミングデーとなりました。

◇新美砂会イベント開催

平成28年12月11日に迎賓館赤坂離宮見学をメインのバスツアー参加を企画しました。念願の迎賓館見学では日本近代の歴史と建設当時の粋を集めた内装・外観など、まるで別世界に居るかのような感動を味わいました。年末の時期とあって少ない人数ではありましたが、快晴のもと楽しい時間を過ごすことができました。

— お願い —

新美砂会員は現在住所登録者数約2万人余りですが、残念ながら総会や地方支部総会などの校友会諸行事に参加される方は極少数です。会報やホームページ、登録アドレスへ送信される情報に関心をもっていただき、積極的に参加してくださいよう、よろしくお願いいたします。



■共通教育部 人文・社会科学系

主任教授 岩崎 敬道

本学系は、人社教育・体育教育・教職教育の3部門からなり、各部門それぞれの課題を追求し、さらなる全学教育の発展および社会に貢献できるよう、日々努力を重ねています。

◎人文・社会科学教育部門

教授 新保 良明

教養科目は1990年代初頭の大学設置基準の緩和により、ないがしろにされてきた過去を持ちますが、近年は逆に企業から大学卒業にふさわしい教養が求められるようになっていきます。ところが、たとえば、キリスト教に関連してイエス・キリストを話題にする場合、残念ながら「イエス」を個人名、「キリスト」を名字と捉えている学生が少なからずいます。グローバル化が叫ばれて久しい中、我々が教養を学生に身につけさせていくかは大きな課題でしょう。

その一方で、全学的な教養科目の開講数は同規模の大学のそれを凌駕しており、学生にとって恵まれた履修環境にあると言えます。とはいえ、希望する教養科目の開講日・時限と専門の必修科目、実験・実習科目のそれとが重なれば、学生が専門科目を優先せねばならない履修状況にあることも事実です。

千田茂博先生が勤続30年を迎えられました。

◎体育教育部門

教授 渡辺 一郎

体育部門はSC4人、YC1人の5名体制で体育教育を担当しております。昨年4月から1年間、椿原准教授がNZカンタベリー大学に留学し、現在4名にて運営しております。各教員ともラグビー、テニスや剣道、ハンドボールとそれぞれの専門種目を生かしてクラブの指導に熱心に取り組んでおります。また一方で、筋力系の低下が顕著な本学学生に対し効果的な運動療法やわかりやすい講義を行って少しでも体力アップに寄与するよう日々努力しております。SCでは体育実技が必修であるため対象学生全員に十分な指導ができる一方、クォーター制度の導入により選択科目としての体育実技の履修が困難な状況になってきており、YC、TCともに履修者数の大幅な減少となっております。この課題を改善するためにできるだけ多くの学生が体育実技を履修するよう日々努力を重ねております。将来的に体育科目の必修化を目指し、体育スタッフが協力して実現に向けて更なる努力をしていく所存です。

◎教職教育部門

教授 岩崎 敬道

教職教育部門は、中・高等学校の教員養成を主たる任務としてしています。平成28年度も多くの学生たちが教員を目指しています。例年のように横浜市の中学校教員に合格していることに加え、今年は東京都・群馬県にも専任教諭として平成29年度から教壇に立つ予定です。この他にも、神奈川県常勤の教員を見込んでいる学生もいます。教職科目の授業はもちろんのこと、教員採用試験対策とこれに応える学生たちとの連携が図られている結果だと思えます。

また長い間本学にお世話になった岩崎が平成28年度で定年を迎えます。皆様方の御支援の下、本学でしか経験できないことが様々あり、今後の人生に励みになります。ありがとうございました。

自然科学系

主任教授 山口 勝己

平成28年度は、12名の専任教員、5名の客員教授、60名の非常勤講師という体制で、主に工学部・知識工学部の工学系基礎科目の教育と研究を担当しています。化学・生物・地学教育部門については、知識工学部自然科学科の教員が担当し、数学、物理部門についても自然科学科の教員と連携して教育を行っています。また、大学院工学研究科の共通教育も担当しています。

◎数学教育部門

金川教授、井上准教授、古田准教授、矢作教育講師（平成28年度まで）の4名体制に加え、自然科学科の吉野教授、橋本教授、中井准教授と連携して教育研究活動を行っています。また、客員教授を北垣郁雄・広島大学名誉教授、野原勉・本学名誉教授、知沢清之・管理工学研究所（株）相談役に委嘱し、数学部門の教育と研究に関して助言をいただいています。

◎物理教育部門

岩松教授、長田教授、須藤准教授、中村講師、右近教育講師及び菅谷技師捕の6名に加えて、自然科学科の飯島教授、門多講師と連携して教育研究活動をおこなっています。平成28年度限りで岩松教授が定年退職され、平成29年度より新しい教員を迎える予定となっております。また客員教授を岡部豊・首都大学東京名誉教授に委嘱し、物理部門全体の教育と研究に関して助言をいただいています。

◎情報教育部門

山口教授、安井講師の2名体制で、主に工学部の情報基礎教育を行っています。また、情報基盤センターの整備・運営にもセンター職員と協力して参画しています。

外国語共通教育センター

主任教授 土肥 一夫

外国語共通教育センター設立からの近年の数年間に、主に等々力キャンパスの学生が世田谷で履修する機会が増えました。また、社会での英語の重要性を意識し、教養科目を含め英語による授業も少しずつ増えています。センターでは学生の英語力向上のため、さらに内容を充実させたいと考えています。

専任教員では平成27年度をもって宮崎幸子講師が退職され、後任として平成28年4月に和田忍講師が着任し、世田谷と横浜の二つのキャンパスで授業を担当しています。

前会報で述べたように、学生は入学直後と1年生終了時に英語基礎学力テストを受けますが、平成28年度から新たに2年生終了時にも同テストを受けることになりました。平成28年度の入学生は昨年度比で学部による違いはあるものの、全体的に著しい変化はありません。学生の実態を的確に把握し、英語力の向上に取り組むことになります。なお、2014年と2015年の4月に実施した英語基礎学力テストに関しては、『東京都市大学 教育年報』第26号（2016年3月）の120～131ページをご参照ください。

社会ではTOEIC等を重視する傾向が強くなり、都市大の学生も呼応するように受験しています。英語力向上には毎日の学習が不可欠です。スマホ世代の学生が利用可能な学内を含む学習方法のPRも強化し、実践力に必要な読み・書き・聞く・話すというコミュニケーションの基本の重要性を再認識させ、懇切丁寧な指導に努めたいと思います。

校友会ホームページについて

<http://www.tcu-alumni.jp/>

東京都市大学 校友会ホームページへ

<http://www.tcu-alumni.jp/>

上記アドレスを入力か、各種検索エンジンで
「東京都市大学 校友会」で検索

東京都市大学 校友会 ホーム

「校友会について」「行事予定」「学科同窓会」「支部」
をクリックすることで、下に示す各ページへ移行します。



「校友会について」のページへ

「行事予定」のページへ



左のアドレスを入力か検索エンジンで「**東京都市大学 校友会**」



スマートフォンでは画面が異なります。
「東京都市大学 校友会」画面の「**MENU**」をクリックすると
「校友会について」「行事予定」「学科同窓会」「支部（地方・職場）」「住所等登録の変更」が選択できる画面になります。

「学科同窓会」「地方支部・職場支部」
のホームページへはこの入口をクリックして進んでください。

「**学科同窓会**」のページへ



「**支部（地方・職場）**」のページへ



平成28年度 就職動向と支援

就職環境の変化

景気の上昇傾向を受けて、平成 29 年 3 月卒業予定学生の新卒求人倍率（リクルートワークス研究所調べ）は 1.74 倍（昨年 1.73 倍）となり、昨年と比較しても一人当たりの求人数は若干ですが増加の傾向にあります。

またここ数年、毎年のように就職活動の時期が変更になっています。求人情報の公開時期は昨年度同様、大学 3 年生の 3 月でしたが、採用選考時期は大学 4 年生の 8 月であったのが 6 月にと若干、早期化へと変更になりました。本学でもこの動きに対応すべく正確な情報を把握した上で、インターンシップへの参加支援強化やガイダンスなどでの学生へ意識付けの徹底や支援イベントの時期や内容変更をはじめとしてさまざま対応を行ってまいりました。その結果、若干の混乱はありましたが平成 28 年度も学生から多くの良い結果報告をうけることができています。

ただ、ここ数年本学の学生に限らない傾向ですが、複数の内定を得る学生と、なかなか内定を獲得することができない学生との差が大きくなっていると感じています。

今後も引き続いて全学生に対しても、準備の大切さを伝えていきたいと思っております。次年度、平成 30 年 3 月卒業生は採用選考時期が平成 28 年度と同様となる予定です。就職の時期の変更はありませんが、国内外の経済や政治の変動による就職環境の変化の可能性は高まっていると思います。本学の学生が変化に戸惑わないように、本学としても十分に対策をしていきます。校友会の皆様からも学生への直接的、また情報提供などの間接的な支援も一層賜れますようお願いいたします。

平成 28 年度の状況

平成 28 年度の就職状況は、文部科学省発表の 2016 年 10 月時点での国公立大学の平均内定率は「71.2 %」となりました。本学では 10 月時点で学部生でも 8 割を超え、大学院生では約 9 割の決定率となっております。

人間科学部の保育業界希望者は、11 月以降が選考のピークを迎えることを考えましても、全国平均に比べて十分健闘をしてはおりますが、本学としましては、まだ活動を継続している学生に対しての支援は最優先と認識しております。これから学内での企業セミナーや継続して求人をしている企業の情報を収集し一層の就職活動の支援を実施してまいります。学生の進路に関する意識が多様化し、変化の大きな就職環境に対応すべく、今後ますますキャリア支援業務に注力してまいりますので、引き続き校友会の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

近年の主な就職先

最近 3 か年の主な就職先を以下に示しました。より詳細な資料は大学ホームページ（ホーム > 就職・キャリア > 就職実績 > 年度別主要就職先一覧）をご覧ください。

全学部 3 か年の主な就職先（平成 25 ～ 27 年度）

一般企業	3か年合計	平成27年	平成26年	平成25年
東日本旅客鉄道 (JR 東日本)	32	11	11	10
大成建設	31	10	11	10
東京電力	22	11	8	3
スズキ	21	11	5	5
大和ハウス工業	20	4	7	9
三菱電機	19	8	8	3
日本電気 (NEC)	18	7	6	5
東急建設	18	6	7	5
清水建設	17	6	7	4
日立製作所	16	6	5	5
トヨタ自動車	15	6	4	5
大林組	15	4	5	6
積水ハウス	13	4	3	6
富士通	12	2	3	7
いすゞ自動車	12	5	4	3
凸版印刷	12	6	2	4
キャノン	11	6	3	2
東海旅客鉄道 (JR 東海)	11	3	4	4
長谷工コーポレーション	11	2	7	2
東芝	10	6	2	2
ヤマハ発動機	10	2	5	3
日産自動車	9	1	6	2
東京急行電鉄	9	7	1	1
竹中工務店	9	2	5	2
NTT データ	8	3	2	3
富士重工業 (SUBARU)	6	4	1	1
鹿島建設	6	2	3	1
本田技研工業 (Honda)	4	2	2	0
公務員	3か年合計	平成27年	平成26年	平成25年
横浜市役所	25	15	5	5
東京都庁	17	2	3	12
世田谷区役所	13	4	7	2
川崎市役所	10	3	5	2
横浜市教員	7	1	3	3
警視庁 (警察官)	7	1	2	4

技術士第一次試験に学部生 19 名合格 柏門技術士会 会長 小林洋一 (S48 電気)

柏門技術士会は、母校を卒業した技術士からなります。本会は 3 年前から技術士第一次試験の学部生合格者へ受験料相当の助成金支給を始めました。過去 2 か年は 6、7 名にとどまっていたが、平成 28 年度は 19 名の学部生が合格しました。都市工 6、原子力安全工 1、環境創生 10、環境マネジメント学科 1 名、未申請 1 名です。

平成 28 年度は校友会から助成金をいただけることになり、合わせて先生方とキャリア支援センターのご協力のもと、技術士制度ガイダンス、模擬試験を行いました。これらの施策により、合格者増となりました。

技術士は、JABEE 課程修了後、又は技術士第一次試験合格後、実務経験を経て挑戦することができますが、近年在学中の受験者が増加し、今年度は総受験者約 22 千名のうち 12% が在学生でした。

これは技術士資格が技術者の質保証として社会で評価され、在学時から技術士を目指す学生が増えたことに他なりません。これから他校に遅れを取ることなく、在学生による技術士第一次試験への挑戦を願ってやみません。

表紙解説

勝又 英明 (S55建築)

第4号の表紙は、横浜キャンパスからお届けします。撮影は平成29年2月3日で、母校の入学試験の真最中です。入学試験は世田谷キャンパスで行われているため、横浜キャンパスは静かでした。この数日は快晴で、雲一つない冬晴れ、といいまして、春を感じさせる天気でした。私自身はこの横浜キャンパスの校地を建つ前、更地のころから見ていますので、キャンパスが土地に馴染んできているという印象を受けました。キャンパスに風格が出てきた感じです。今回の写真は卒業生の皆さんが良く利用されたであろう、4号館学食中心に撮影しました。絵になる、特徴のある建物ですね。左上は4号館の南側の庇です。特徴ある形をしています。右上は、横浜キャンパスのシンボルツリー、クスノキです。風格が感じられます。左下は学食内から見た南側保存樹林です。窓一杯に緑が見えるのはよいですね。右下は3号館北西角のガラス部分です。透明感があって良いですね。横浜キャンパス出身の皆さん、是非、キャンパスを眺めに来てください。

編集後記

「都市」第4号が出来上がりました、いかがでしたでしょうか。今号は写真をたくさん載せるという趣旨で紙面作りをしてまいりました。特に支部便りは各支部の特色が出ることを主眼に写真を選びました。会報を見てくださった会員の皆様が支部総会をはじめ、校友会の活動・行事に「参加してみたい」と思っただけならば、作成側といたしましては、想いが伝わり、ひいては校友会の発展にも繋がるものと嬉しく思っております。同窓というだけでなにか繋がりを感じませんか？ある会で、元気なうちは極力校友会活動に参加し、いろんな人と会いたいとおっしゃった方がいらっしゃいました。その手助けの一端を校友会が担うことができましたら幸いです。

平成28年はリオ・オリンピックに日本中が湧き、日本選手の活躍に心を踊らせた一方、4月の熊本を始め鳥取、福島、茨城と地震が続き、夏には北海道での台風と、天災に遭われた会員の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。心よりお見舞い申し上げます。この第4号が日々の生活から離れ、ふと学生時代の思い出へいざない、そのひと時が明日への糧になりますことを願いペンを置きます。

衣斐 喜美子 (S55家政)

会報編集部会

部会長：今井 章久 (S44通信)
編集長：衣斐喜美子 (S55家政)
委員：小林 哲男 (S47土木)
委員：勝又 英明 (S55建築)
委員：服部 圭子 (S50家政)
委員：植村 俊子 (S52家政)
委員：加藤 祐子 (S53国文)
委員：藤井 研一 (S57建築)

2017年3月19日発行

東京都市大学 校友会 都市 vol.04

発行人 吉田 勝

発行所 東京都市大学 校友会

〒158-8557

東京都世田谷区玉堤1-28-1

東京都市大学 1号館 4階

Tel.03-3703-3862

Fax.03-3703-4595

E-mail koyukai@tcu.ac.jp

URL <http://www.tcu-alumni.jp>

印刷所 フジ印刷株式会社

CONTENTS

2017 March Toshi vol.04

1-2 巻頭言

- 1 東京都市大学 校友会 副会長 原口 兼正
- 1 東京都市大学 校友会 副会長 松村 慶一
- 2 東京都市大学 学長 三木 千壽

3-5 平成28年度定期総会報告

6 ご報告

- 6 第4回校友会懇親ゴルフ大会 (中止)
- 6 (平成28年度) 第1回「校友会のあり方検討会」
- 6 校友会バスツアー「世界遺産・富岡製糸場」
- 6 ホームカミングデー
- 6 第2回 校友会夢キャンパスセミナー
- 6 校友会進路相談会

7-16 地方支部だより

17 職場支部だより

18-26 学科・学科同窓会だより

27-28 校友会ホームページについて

29 大学からのお知らせ

30 表紙解説

30 編集後記

- 18 大学が発行する主な冊子
- 20 東京都市大学校友会館・自由が丘クラブ
- 22 メールアドレスの登録を！！
- 29 技術士第一次試験に学部生19名合格

